# 秋田の工芸 樺細工と紫塗の再評価 - 博覧会との接触という視点から-

斉藤 洋子\*

#### 1 明治初期博覧会の概要

開国後の明治期、近代化推進に大きな役割を果たした政策の一つに博覧会事業があった。国内の産業発展、輸出の促進、国威発揚を目的として、明治政府が主導した(國2010)。

博覧会は、産業革命の先進地であるイギリスやフランスで19世紀にはじまった。海外の国々において博覧会は、最新の技術や世界中の物産が一堂に集められて展示される機会であり、新しい生活文化のあり方を人々に伝播する場でもあった。

一方、明治期日本において博覧会の捉え方は少し違っていた。開国時に欧米諸国の軍事力と最先端の科学技術を目の当たりにした明治政府は、欧米列強に負けない国づくりを目指し殖産興業政策を推し進めた。その政策の内の一つが博覧会への参加であった。

日本が初めて公式に参加したのは、明治6年 ウィーン万国博覧会である。日本の出品物は好評 を博し、陶磁器、銅器、漆器などの工芸品、織物 等が数多く受賞した。会期終了後も日本製品に対 する貿易の引き合いが相次いだことから、国の栄 誉をあげ輸出を拡大するという明治政府の目的は 果たされたといえる。

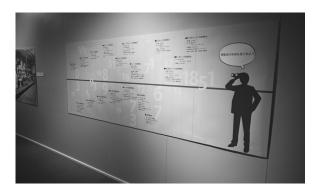
その後、評判の高かった工芸品は、輸出品として発展させるため、見直しや改良が模索された。そこで、国内の職人同士が技術や品質を競う場として、初代内務卿大久保利通の提案により内国勧業博覧会が実施された。内国勧業博覧会は、万国博覧会に倣った国内博覧会であり、次なる万国博覧会に向けた前哨戦ともいえるものだった。同博覧会は5回まで開催され、日本の産業振興に大きく寄与した。

#### 2 本論の目的

明治初期における博覧会参加という国内の大きな

動きは、当然本県にも及んでいる。秋田の工芸に ついても例外ではない。そこで当館工芸部門では、 令和2年4月から、博覧会と密接に結びついた秋 田の工芸品を対象に調査を行ってきた。主に国内 外様々な博覧会の出品記録や公文書などの文献調 査(註1)、産地で保存している江戸期から明治 期にかけて作られた工芸品を実見する資料調査を 行った。また、博覧会へ出品記録をもつ秋田の工 芸品を抽出・リスト化し(末尾の別表1参照)、こ れまで研究されてきた産地の歴史や現存資料と照 らし合わせた。すると、多数の県内工芸職人や工 房が博覧会に出品・受賞しており、博覧会出品を 契機とすることで産地が様々な反応を示していた ことが判明した。その一つの例として、本誌48 号では能代春慶に焦点を当て報告している。能代 春慶は、秋田県工芸分野の中で先駆けてウィーン 万博に出品しており、その後、海外の需要に応え る形で器形を変化させた(斉藤2022)。秋田の工 芸家たちが国内外の博覧会と接触する様子は、令 和6年4月27日(土)~6月30日(日)に当館で 開催した企画展『美の交差点―博覧会とあきたの 工芸一』で紹介した(図1)。本稿では、展示で紹 介したものの中から樺細工、紫塗を取り上げ、博 覧会が産地に与えた影響という側面から、秋田の 工芸について再考察するものである。









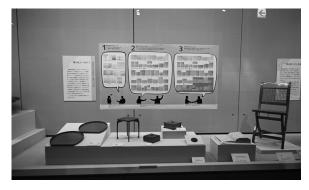


図1 令和6年度企画展 「美の交差点ー博覧会とあきたの工芸ー」展示 風景

# 3 博覧会と秋田の工芸~樺細工~

#### (1) 阿仁樺細工

#### ①概要

樺細工は秋田の伝統工芸品の一つで、経済産業 大臣によって指定された、国の伝統工芸品であ る。現在では産地の規模が大きいため、樺細工といえば角館の名が知られている。しかし、秋田の樺細工の発生地は、旧下小阿仁村鎌沢(現北秋田市)である。遅くとも江戸時代中期には、ここで樺細工が始まっていたと考えられている(註2)。技術は、代々神職であった御所野家によって伝えられてきた。御所野家は、熊野修験系の神職として、京都方面から移住したといわれている(秋田県1962)。主に胴乱(きざみたばこの葉を入れる携帯用保存容器)や巻煙草入れを多く生産した。阿仁胴乱は馬が踏んでもつぶれぬと評判で、その堅牢さが売りであった。

御所野家の樺細工は元々一子相伝の技術であったが、産業縮小を懸念した13代宥俊(-1799)によって角館へ、また16代御所野金也(1821-1884)によって大館へ技術が伝播した(秋田県1962)(図2)。

その後も胴乱を中心に生産は続けられたが、19 代御処野忠(1911-1997)を最後にその技術は途 絶えてしまった。現在では、大館樺細工職人の小 笠原豊氏を招いて、地域住民が技術を学び、伝承 の道を模索している。

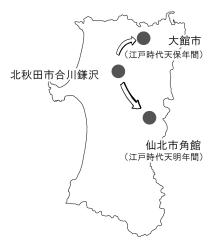


図2 秋田県樺細工の技術伝播の経路

# ②博覧会との関わり

阿仁樺細工が博覧会に出品され始めたのは、伝播先の角館よりも遅く、明治36年の第5回内国 勧業博覧会からである。出品目録には、御所野春成、御所野要蔵(1849-1917)、御所野秀治(1881-1959)、大蔵幸蔵、計4名の職人の名がみえる(別表1)。博覧会への出品作品ではないが、御所野要蔵が作った胴乱は、当館でも所蔵している(図

3)。飾り気のない素朴な佇まいだが、内部の槻 皮を厚くとり、馬に踏まれてもつぶれないという 売り文句がうなずけるほど強固な作りである。要 蔵の胴乱は、他に追随をゆるさぬ製品で、関東方 面より注文が殺到するほど当時人気があったとい う(合川町郷土史編纂委員会1966)。要蔵が第5 回内国勧業博覧会に出品した作品は、箸、茶箕、 台付菓子重、巻莨入箱、中折巻莨入、カブセ蓋巻 莨入、角形置莨入、丸形置莨入、黒皮煙管筒、黒 皮下ケ煙草入、霜降皮煙管筒、霜降皮下ケ煙草入 で、出品目録にある他の3人よりも種類が多い。 また、阿仁でそれまで作られていた煙草入、キセ ル入等の喫煙関連の商品だけでなく、箸や箕、菓 子重など木地に樺を貼る新しい工法の商品も手が けるなど、博覧会の出品に挑戦的な姿勢であった ことがわかる。

#### ③昭和期の阿仁樺細工

御所野家には、昭和期に販売された樺細工の記 録が残されている(図4)。帳簿には、どこに何を 販売したかが詳細に記録されており(別表2)、胴 乱や煙草入れなどが品質によって上中並に分けら れていたこと、壊れた物の修理を請け負っていた こと、近隣だけでなく樺太や山形、福島など遠方 からの注文があったことなどがわかる。また、煙 草入れ、胴乱などの注文が多くみられ、江戸期か ら変わらず主力商品であったことも見逃せない。 江戸期に評価された、堅牢性という産地の強みを 維持し続けていた。他にもシツリ箱(註3)の注 文も受けており、明治期博覧会出品にあたり取り 入れていた工法にも引き続き取り組んでいたよう だ。このように帳簿から、博覧会出品後における 樺細工生産の様子を窺い知ることができるのであ る。

# (2) 角館樺細工

# ①発生と発展

角館の樺細工は、江戸時代の天明年間(1781~1789)に藤村彦六という武士によって、阿仁地方から伝えられたとされている(秋田県1962)。 角館には秋田藩主佐竹氏の分家、北家が居を構えており、樺細工を下級武士の内職として奨励した。 秋田県史、角館誌によると以下のような記録がある。

- ・1801年 南部方面へ移出
- ・1803年 土崎湊沖出物中に桜皮胴乱
- ・1805年 江戸の佐竹壱岐守から注文
- ・1814年 秋田藩主佐竹義和から北家義文へ注文
- ・1830年 渋江和光から角館に注文

北家の保護の元、技術移入からわずか数十年で順調に販路を得、胴乱と印籠を主軸に樺細工が藩内特産品としての地位を確立した様子が窺える。

#### ②江戸期の角館樺細工

#### a) 江戸期の印籠

角館樺細工と博覧会の接触について述べる前に、阿仁地方から伝播して間もなくの頃製作されたものについて確認したい。江戸期に製作された 樺細工の現存資料は少ないが、数点が仙北市にある角館樺細工伝承館で保管されていた。

まず一つ目は、角館樺細工の祖、藤村彦六が製作したといわれている印籠(図5)である。目なし樺という節模様のない無地皮の外筒が、表は瓢箪型に、裏が四角形にそれぞれくり抜かれ、中から銀系皮(註4)の三段組印籠が覗いて見える。窓から覗いた風景画のように、奥行感のある装飾的なつくりになっている。

二つ目は北家7代佐竹義文に献上した印籠である(鈴木1982)。江戸期の角館樺細工創始期に活躍した一人、石黒勘左衛門がつくった(図6)。藤村の作品同様に無地皮を外筒に使い、くり抜きの細工が施されている。中の印籠部分は4段組で、銀皮の模様を強調するように金箔が施されている。印籠外側の紐を通す部分には細い若竹が接着されており、立体感が演出されている。若竹の端には鹿角が嵌められ、細部までこだわりをみせる。石黒は、藤村彦六の高弟ではないかともいわれている人物である。

三つ目は、吉成市左衛門(-1893)がつくった、「小判入」である(図7)。形も小判型で、中には「金銀入」と墨書されている。蓋は中央がすこし膨らみ、皮は三枚貼り、中央に磨かれた皮を配置し、両側にはちらし皮を使った貼り分けがされている。更に内側の杉材を漆で拭いて光沢を出すなど、吉成の創作性は極めて自由である。

江戸期に製作された樺細工3点には共通点がある。作品に何種類もの皮を使っていることである。

江戸期には主に無地皮、銀系皮、霜降樺(註5)などの樺が存在していた。それらの樺を駆使し、藤村と石黒は部品ごとに違う種類の樺を貼ることで質感の違いを生み出し、吉成は帯状に貼り分けることで装飾性を高めていた。つまり、樺模様を装飾文様として印籠のデザインに取り入れていたのだ。特に吉成の製作した「小判入」は、木型に合わせて芯をつくり、その上に樺を貼り付けて筒状のものを作る「型もの」と呼ばれる工法で作ら

れているが、蓋の表面だけは、木地の上に廖で樺を貼り付ける「木地もの」と呼ばれる工法で作られている。「木地もの」は明治期から本格的に登場した工法であり、吉成の製造方法は実験的な取り組みだったといえる。以上のことから、江戸期の角館樺細工は、阿仁地方からの技術伝播後すでに樺の模様を大胆に使うなど美観を重視し、更に樺を貼り分けるという創作性もみせていた。美観への意識の高さは、印籠に桜皮だけでなく、白鳥



図3 「胴乱」御所野要蔵 作(当館蔵)





図4 御所野家に残された帳簿(御処野薫氏蔵)







図5 印籠「鞘入三段印籠」 伝 藤村彦六 作 (樺細工伝承館蔵) 左:表側 中:印籠部分 右:裏側







図 6 印籠「木爪型五段印籠」 石黒勘左エ門 作(樺細工伝承館蔵) 左:表側 中:印籠部分 右:紐通し部分の鹿角







図7「金銀入」吉成市左衛門 作(樺細工伝承館蔵) 左:外側 右:箱中の墨書



図8 白鳥脚皮による印籠 (樺細工伝承館蔵)

の脚皮まで使ったことからも窺うことができる。 秋田県史には江戸期、白鳥の脚皮をなめして土台 となる槻皮に貼り付けた印籠(図8)があったこ とが記載されている。

#### b)角館における樺細工製作の背景

角館樺細工が阿仁地方からの伝播後、すぐに個性的な意匠を発展させた背景には、主に二つの要因が考えられる。

一つは、樺細工が北家の奨励を受け、藩主をは じめ相応の需要があったことだ。9代秋田藩主佐 竹義和は文化11年3月、7代北家義文に対し、江 戸参勤のみやげとして白岩焼と共に樺細工を所望 している(秋田県1962)。このことは角館樺細工 が、技術伝播後わずか20年ほどで秋田を代表す る美術工芸品として認められていたことを示して いる。藩主義和は特に自分の好みで注文した霜降 皮印籠を気に入ったようで、同様のものを津軽候 への贈物とするため製作を再度命じるほどであっ た(鈴木1982)。

角館は、武士や町人が集住する都市的な場で、 有閑階級が相応に存在し、絵師も輩出するような 土地だった。そうした文化的環境の中で、角館樺 細工が洗練の度を深めていったことは、想像に難 くない。

二つめに、角館では伝えられた樺細工の技術を 秘伝としなかったことである。江戸期において工 芸技術の習得は、能代春慶や阿仁の樺細工、白岩 焼のように、一子相伝、あるいはきわめて制限し た門人のみに伝える習わしであった(「角館誌」編 纂委員会1967)。しかし角館の場合は違っていた。 角館には様々な家臣が混在している。創始者とい われる藤村彦六は佐竹北家家中であるし、吉成市 左衛門は佐竹宗家の直臣である。それぞれ所属が 異なる武家であるが、技術が特定の家に独占されることなく共有され、互いの技術向上が促された。

# ③明治の角館樺細工

# a) 問屋と職人

明治以降、角館樺細工が産業として発展する上で重要な役割を担ったのが問屋である。明治初期の頃には仙北郡角館岩瀬町の魚商であった安藤正兵衛、明治20年代頃には同下岩瀬町の長松谷商店(丸亀)、明治40年代以降は藤木伝四郎商店など、それぞれの時期に有力な問屋が台頭した。(宮川2002) 問屋は、販売や販路の開拓だけでなく、道具の開発や技術・意匠の改善、技術者への材料供給、生活扶助などを行い、産業に携わる人を支援した。

#### b)明治期博覧会への出品記録

樺細工の問屋は、明治初期の早い時期から博覧 会事業に参加している。第1回内国勧業博覧会で は、岩瀬町の問屋、渡邊萬蔵が刺巻村の田村七郎 兵衛が作った樺細工印籠を出品し褒章を受けた。 また、第2回内国勧業博覧会(明治14年)では、 渡邊萬蔵が角館春慶を、安藤正兵衛が樺細工を出 品し(図9)、どちらも褒章を受けた。第5回内国 勧業博覧会では、藤木伝四郎と長松谷弟蔵が数々 の樺細工を出品し褒賞を受賞し、職人の経徳斐太 郎、黒沢清太が個人で出品した。長松谷弟蔵は、 問屋長松谷商店(図10)の基礎を作った人物であ る。経徳斐太郎、黒沢清太は長松谷商店に招致さ れ、樺の磨き方や使用方法などを改良し技術を発 展させた職人で、明治中期の頂点に立つ人物とい われている。彼らは、それまでの印籠や眼鏡入れ、 煙草入れなどの製品などにとどまらず、シガレッ トケース、小机、盆、硯箱などを製作した。



図9 第2回内国勧業博覧会褒賞状 (樺細工伝承館蔵)



図10 長松屋商店のガラス製の看板 (樺細工伝承館蔵)

#### ④博覧会に出品された樺細工

次に、現存する明治期の樺細工と記録を照らし 合わせながらみていく。

#### a) 明治初期の樺細工と職人

明治初期の記録に残された職人に、原田信也が いる。四つ耳の印籠を得意とした人物である。原 田が製作し、自身で使用したといわれている印籠 (図11) は、四隅に筒状の紐通しが接着されてい る。印籠の中身は、段それぞれに防水のため漆が 薄く塗られていて実用的だ。記録によると、明治 12~13年頃、原田をはじめとして、かつての士 族身分の人々が集まり、樺細工の展覧会を開いて 技術を競い合ったといわれている(秋田県1962)。 開催されたのは、第2回内国勧業博覧会の前年か ら前々年とみられる。博覧会を見据えた技術交流 会だった可能性があるが、詳しいことはわからな い。肝心の第2回内国勧業博覧会では、問屋の安 藤正兵衛が樺細工を出品し受賞しているが、出品 したのがどんな作品だったのか、その詳細がわか らず、原田の作品が含まれていたかも判明しない からだ。唯一わかるのは、当時の報告書に「編製

ノ法未タ熟セスト雖モ色澤稍浄クシテ需要ニ供スルニ足ル頗ル嘉ス可シ」(内国勧業博覧会事務局 1882) と記されたように、樺を張る技術については改良の余地があるものの、樺の色艶など樺の選び方に関しては、今後も需要があると評価を受けたことだけである。江戸期から芽生え熟成されていった美観へのこだわりと創意性は、明治期博覧会出品を経て、一層充実していったのだろう。



図11 「四耳印籠」 原田信也 作(樺細工伝承館蔵) 中は漆が塗られ、防水加工が施されている

#### b)明治中期の樺細工と職人

明治中期以降になると、技術、工法、道具など 各自が創意工夫をみせ、作品は多様化の一途をた どる(樺細工伝承館1982)。第5回内国勧業博覧 会には、藤木伝四郎商店が樺製菓子入及巻莨、印 籠三段、置煙草入、表皮製、縮緬皮製、茶箪笥、 衣桁用、花筒、藤巻筒、節附、柱カクシ、置烟草入、 名刺入、総皮製、緒絞玉、箱枕、茶入、中形、菓 子重台附箸共、巻煙草入無双形、銀皮製、霜降皮 製、巻煙草入、無双総皮製、鰐口形並皮製、船形 提煙草入並皮製、東形提煙草入表皮製、小槌形提 煙草草入表皮製、叭形提煙草入並皮製、置煙草入、 会席膳、盆、盆漆フキ上ゲ、硯箱、状箱、状箱漆 フキ上ゲを出品している。また、長松谷弟蔵(長 松谷商店) は茶箕、菓子重、附戸盆、茶箪笥、床 柱、柱隱、衣桁用、額面、置煙草入縮緬製、分銅 形、並形船形、東形、提ケ巻煙草入船形筒付前蓋 用、提ケ巻煙草入細縫、提ケ巻煙草入縮緬皮、煙 管筒惣樺巻揚製、巻煙草入無双形裏樺製、巻煙草 入無双形銀樺製、巻煙草入磨、巻煙草入無双大形 磨、眼鏡入、名刺入を出品した。

長松谷商店の職人であった黒沢清太は、個人で

菓子入盆附、置煙草入星皮製、置煙草入盆付縮緬 皮、巻煙草入星皮製、提煙草入筒付き銀皮製、提 煙草入樺巻縮緬皮製、鰐口銀皮製、巻煙草入無双 形を、また経徳斐太郎(図12)は、菓子入盆付、 茶菓子入台、茶菓子入台盆付、花瓶を出品してい る。

注目すべきは大手問屋、藤木伝四郎商店や長松 谷商店が、茶箪笥、額面、床柱、衣桁など、樺を 貼る技術を駆使した大型製品を多く博覧会に出品 していたことである。実際に角館樺細工伝承館に は、長松屋商店でかつて販売された商品が現存している。実見すると、茶箕や糸巻、花瓶、菓子器など生活用具から調度品に至るまで、様々なものの上に樺を貼っており、その技術精度は完成されている(図13)。明治期長松谷商店では、江戸期に主流であった印籠や胴乱などの「型もの」に代わる「木地もの」による製品が多く生産され、次第に「木地もの」は博覧会出品の主力製品となっていったことが窺える。



図12 明治期に経徳斐太郎が製作した樺細工(経徳明夫氏蔵) ①、②「煙草入れ」 ③「きざみ莨入れ」 ④莨入れの設計図



このような樺を木地に貼り付ける「木地もの」を可能にしたのが、黒沢、経徳によって明治30年頃に完成したという大判皮使用法の開発であった(吉成1936)。それまでは、印籠よりも大きい製品を作る際、数枚の樺を接ぎ合わせなければならず不格好な外観になることが課題であった。しかし、大きい面積の樺は継ぎ目を最小限にして作品を完成させることができる。大判皮の技術は作品の大型化を可能にしたことで創作の幅が広がり、博覧会出品作は多様なものへと進化していったのだ。

#### c) 博覧会による宣伝効果

博覧会に積極的に参加するようになり、問屋は 宣伝にも力を入れた。明治42年発行の角館案内 には、長松谷商店や藤木伝四郎商店の広告が掲載 されており(図14)、優美で高尚などの謳い文句と ともに、博覧会の受賞歴が紹介されている。博覧 会で賞牌を受賞することは、商品価値を高めるこ とにつながる。そのため、博覧会の出品歴や受賞 歴は、積極的に宣材として使われていた。宣伝を 携え問屋の売り子が北海道から九州まで販路を拡 大させたことにより、角館の樺細工は地方工芸と しての価値を高め、躍進につながっていった。

このように問屋と技術者が一体となって博覧会への出品や産業振興に努めたことが、博覧会出品記録や関係資料から窺い知ることができるのである。

#### d) 博覧会出品作の意匠の伝播

博覧会は、自らの精緻な手技を誇りうる公の場でありながら、輸出品にふさわしい商品や新しい技術を探る見本市でもあった。

能代春慶の職人である石岡庄寿郎は、明治6年ウィーン万国博覧会で評価を受けた後、明治9年フィラデルフィア万国博覧会に出品するにあたり、海外の人々の需要に応じた42点の出品作をデザインしている。図15の香台はそのうちの一つである。石岡のデザインは、明治8年から14年頃にかけて、博覧会事務局が輸出工芸の手本となるよう発行した図案集『温知図録』にも採用されている(斉藤2023)。そして、フィラデルフィア万博でも、石岡は銀牌を受賞した(図16)。石岡のデザインは、問屋にとって先鋭的だったのか、長松

谷商店では、図17のような類似したデザインの花台も製作された。その後も花台は装飾性のあるデザインで木地が挽かれ、金泊が張られるなど、益々美観を重視したつくりに進化していった(図18)。明治初期、立て続けに海外で受賞を勝ち取った能代春慶は、同郷の職人たちにも多大な影響を与えたのだろう。





図14 角館案内に掲載された樺細工の宣伝 (樺細工伝承館蔵)



図15 「香台」(能代市教育委員会蔵)





図16 石岡庄寿郎が受賞した フィラデルフィア万国博覧会銀牌のメダル (当館蔵)



図17 「猫足花台」(樺細工伝承館蔵)

# ⑤現在の角館樺細工

問屋の藤木伝四郎商店は、明治期以降も博覧会に出品しており、大正4年にはサンフランシスコ万国博覧会で銀賞(図19)を受賞するなど精力的に生産・販売を続けて今に至っている。明治期には、海外輸出拡大という国策のもと博覧会に出品していた工芸品が多くあり、工芸品のデザインも海外の人々の趣向に応じたデザインに目が向けられた。しかし、藤木伝四郎商店代表である三沢知子氏によると、現代において海外で多く売れているのは、日本らしいデザイン、例えば桜の花びらの形を切り抜いた樺を表面に散りばめた茶筒などが多いとのことであった。藤木伝四郎商店では明治期から変わらず、今尚時代のニーズに応じて樺細工を最新の状態に更新していく試みが続けられている(図20)。

展示では、経徳斐太郎の曾孫にあたる伝統工芸士、経徳明夫氏(1947~)の作品も紹介したため、本稿でも紹介する(図21)。明夫氏は、2013年に厚生労働省が認定した現代の名工に選出された。世界遺産白神山地をイメージした作品、「文入れ」(図21)は、ブナと樺を編んで表面に貼り付けた作品である。斐太郎の樺模様を巧みに選び分けるデザイン感覚が明夫氏にも受け継がれている。



図18 「花台」(樺細工伝承館蔵)



図19 サンフランシスコ万博賞状 (藤木伝四郎商店蔵)





図20 藤木伝四郎商店の樺細工 左:小物入れ、トレー、茶筒 右:桜の花びらの茶筒



図21 経徳明夫氏の仕事

左:「文入れ」 世界遺産白神山地をイメージした作品で、ブナと樺を編んで表面に貼り付けている

右:「茶筒」

#### (3) 大館樺細工

#### ①概要

阿仁の樺細工の技術は、角館の他に大館にも 伝播している。江戸時代の天保年間(1830~ 1843)に、阿仁の樺細工を代々受け継いだ神職で ある御所野家から、ショウガという人物に伝わっ たとされる。しかし、一般に元祖とされている のは大館八幡神社の神主、佐々木節三(1878~ 1944)である。節三が受け継いだ樺細工は、どの ような経緯かは定かではないが、生活に困窮した 下級士族の間に広まり、内職として技術を身に着 ける人が増えていった(秋田県1962)。

大館市常盤木町はかつて秋田藩直属の足軽が居住し、大正期に樺細工を営んでいる店が10軒ほどあった(秋田県1962)。昭和に入ると製造戸数は15軒、従事者は50名に増加し、1年の生産量は喫煙具が7万個、茶器が2万個、その他1万個、合計額5万円ほどの売り上げがあった(大館市1986)。その中でも栗盛商店の栗盛久吉は、木地ものや新しい商品にも挑戦し、機械設備を取り入れて分業を図るなど、大正から昭和にかけて大館樺細工を牽引した。

栗盛久吉の弟子、斉藤吉郎(1925~2009)は 美術教員であった妻の影響を受け、切り絵のよう に樺を切り貼りするなど、これまでにない技法で 樺細工に新境地を開いた(図22)。また、現在大 館樺細工ただ一人の職人である小笠原豊氏(1962~)は、抽象的な形の花器を製作し、現代美術の 中での樺細工の在り方を模索している(図23)。

角館樺細工の場合、販売業者と制作者が分かれており、問屋が需要に即した商品を素案、職人がそれをもとに技術を磨き開発した。しかし、大館では技術者が店舗をもつ形態で営まれており、製作から販売までをすべて行っていた。技術の改良や商品開発は各工房で行われ、次第に独創性あふれる自由な意匠や形が生まれていった。

# ②大館の樺細工と博覧会

大館の樺細工は、北秋田郡大館町東大館の桜庭 久吉が第5回内国勧業博覧会に下ケ煙草入、巻莨 入、珠敷を出品しているが作品が現存しない。出 品者である桜庭久吉について現地で調査したが、 詳しいことは分からず、この地域の調査について は今後の課題としたい。





図22 斉藤吉郎の作品(辻淑子氏蔵)



図23 「月下の宴」 小笠原豊氏 作(本人蔵)

# 4 博覧会と秋田の工芸~紫塗~

#### (1) 紫塗の概要

紫塗は、大仙市(旧太田町)横沢に住んでいた倉田維一(1875~1929)が創案し、維一の一代限りで消滅した技術だといわれている(大仙市2007・秋田魁新報社1974)。技法は門外不出で、伊藤良蔵、倉田総助などの弟子達にも伝授されなかったため(大仙市2007)、多くが謎に包まれている。

### (2) 博覧会に出品記録のある倉田初蔵

紫塗は維一が発祥とされてきたが、明治36年の第5回内国勧業博覧会には、維一ではなく、父である倉田初蔵の名が記載されている。出品したのは、紫塗菓子箱台付、紫色塗巻煙草入、茶色塗菓子箱台付、鰕茶塗菓子箱台付、蝦茶塗重箱五重二枚蓋台付、茶盆黒堆黒、巻煙草入台付堆刻黒、状箱外革内黒、状箱内外黒とある(別表1)。

初蔵は、漆工を生業としており、樺細工の上に 漆で加飾を施す仕事を角館から受注していた。更 に家業の漆工だけにとどまらず、当時角館の名工であった黒澤清太、経徳斐太郎から樺細工を習得するなど(宮川2002)、様々な工芸技術を身につけた。

初蔵の仕事ぶりが垣間見える資料がただ1点だけ、現在仙北市個人宅に残されている(図24)。樺細工に漆を施した菓子器である。名工小野東三が制作したもので、器内部の漆塗りを初蔵が手がけたといわれている。この菓子器には、大正3年の東京博覧会に出品されたが売れ残り、その後角館に買い戻されたという添書があった(図25)。博覧会に出品された品は大体が販売されたり、海外へ輸出されたりして散逸している。その中にあって、実際の博覧会出品作であり、また現存している初蔵の唯一の品であるという点で大変貴重な資料である。器内部の漆だけでなく、蓋の螺鈿まで細工したともいわれ、初蔵は多方面に秀でた人物だったようだ。

さらに、第5回内国勧業博覧会の出品目録を見ると、初蔵は紫塗だけでなく堆黒にも挑戦している。堆黒とは彫漆工芸のことで、木地に黒漆を何層も塗り重ね、厚く塗り固めた漆の層にレリーフ状に文様を彫り込む技法である。制作には相当の時間を要する。特に漆を彫る際には、細心の注意を払わなければならない。彫り間違えると、漆の層を作るところから全部やり直しになってしまう。初蔵が初めて参加した第5回内国勧業博覧会までの間、秋田県において堆黒は出品されていない。このことからも、初蔵にとって博覧会は、様々な技法に挑戦し、市場価値を確認する場であったのだろう。

### (3)紫塗の創始について

紫塗について、これまで詳細な研究はされておらず、聞き取り調査などによる市町村史の記述と『秋田人名大辞典』のみが唯一の手がかりであった。しかし『第五回内国勧業博覧会出品目録』に父である初蔵の名前が記載されており、紫塗と名の付く漆器を出品していることが判明した。このことは、2つの可能性を示唆する。一つは、初蔵が紫塗の創始者であったということ、もう一つは維一が師である父初蔵の補佐を受けながら紫塗を開発したということである。いずれにしろ、初蔵

は紫塗の開発に深く関わっていたことには変わり はない。息子の維一は、その技術を更に成熟させ、 深く紫色に光る紫塗を残している(図26)。



図24 「月雪華菓子器」 小野東三 作(個人蔵)



図25 菓子器の中に入っていた添書





図26 「紫塗菓子器」 倉田維一 作(当館蔵)

#### おわりに

明治期の国内および海外博覧会への参加は、秋田の工芸品に大きな影響を与えたことが本論で明らかになった。博覧会は、単に製品を展示するだけでなく、技術交流や市場開拓の場としても重要な役割を果たしていた。さらに、博覧会を通じて得られた知見や技術は、産地の工芸品の品質向上にも寄与した。

樺細工に関しては、角館では問屋と職人が一体となって商品開発に努め、阿仁と大館では個人の職人が博覧会へ挑戦し、それぞれ異なるアプローチで産地の発展を促進した。また、商品の種類を増やし、大胆に新しい技術に挑戦する姿勢が見られ、博覧会が新たな工芸品開発の契機となったことが分かった。

紫塗については、新たに倉田初蔵がその創始者である可能性を示唆し、彼が紫塗りだけでなく、 堆黒や加飾などの技術や樺細工にも精通していたことが明らかになった。特に、紫塗の技法が門外 不出であったことから、初蔵の開発した技術がどれほど高いものであったかが伺える。

このように秋田の工芸文化を再検証する上で、博覧会関係資料は大変有用であり、今後も一層の研究が求められる。本稿では樺細工と紫塗について検証したが、他の秋田県内の工芸品についてもさらなる調査と研究を進めることで、より深い理解が得られるだろう。

本稿をまとめるにあたり、樺細工伝承館元館長 中田達男氏、三浦欽一氏、大館樺細工職人小笠原 豊氏からご教示をいただきました。また、樺細工 伝承館星野悟之氏、藤木伝四郎商店代表取締役三 沢知子氏、樺細工伝統工芸士経徳明夫氏、御所野 薫氏、辻淑子氏から調査の協力をいただきました。 厚くお礼申し上げます。

(註1)澳国博覧会事務局1875『澳国博覧会報告書』、 米国博覧会事務局1876『米国博覧会報告書第一日本出品 解説』、米国博覧会事務局1876『米国博覧会報告書 第 2巻 日本出品目録』、米国博覧会事務局1876『米国博 覧会報告書 第3巻 出品目部』、内国勧業博覧会事務 局1882『第二回(明治十四年)内国勧業博覧会審査評語 上』、内国勧業博覧会事務局1890『第3回内国勧業博覧 会褒賞授与人名録』、内国勧業博覧会事務局『第五回内 国勧業博覧会受賞名鑑』、松原又重1895『第四回内国勧 業博覧会受賞名鑑』、東京国立文化財研究所1997『明治 期万国博覧会美術品出品目録』に記載されている秋田県 の工芸分野に出品した人物及び出品物及び講評を、別表 にまとめた。

(註2) 秋田県史によると、「宝暦年間 (1751-1761) 阿 仁街道で南部の牛飼親方が何者かに殺害されたが、その 腰に阿仁の樺胴乱が2個ぶらさがっていたという記載が 長岐文書にみえている」とある。この長岐文書が、阿仁 樺細工が登場する一番古い文献だといわれている。

(註3) おそらく「しつらえ箱」という意味で、菓子器 や重箱などの類だと思われる。

(註4) 茶色の地に薄茶色の絵具をかすれ引いたような 見た目で、光の反射によって銀のようにみえる樺模様。

(註5) 一見カビのような斑点に、薄く霜が降りたような樺模様。

【引用・参考文献】

合川町郷土史編纂委員会1966『合川町史 郷土のあゆ み』

秋田県1962『秋田県史 民俗工芸編』 秋田県教育委員会1991『秋田県の諸職』 秋田県教育委員会2007『あきたの工芸』 秋田魁新報社1974『秋田人名大事典』 伊藤真実子2008『明治日本と万国博覧会』 大館市1986『大館市史 第三巻下』

「角館誌」編纂委員会1967『角館誌第三巻北家時代編 上』

角山幸洋1999『研究双書第113冊ウィーン万国博の研究』 國雄行2010『博覧会と明治の日本』

斉藤洋子2023『秋田県立博物館研究報告第48号』「能代春慶―江戸時代から明治期にかけてのデザインの変遷―」

鈴木實1982『伝統産業樺細工』

第五回内国勧業博覧会1903『第五回内国勧業博覧会出品 目録』

大仙市2007『太田町史 通史編』

大仙市2007『太田町史 置市・年表編』

田中芳男・平山成信1897『澳国博覧会参同紀要』

東京国立文化財研究所1997『明治期万国博覧会美術品出 品目録』

東京国立博物館1997『明治デザインの誕生―調査研究報告書「温知図録」―』

內国勧業博覧会事務局1882『第二回(明治十四年)內国 勧業博覧会審査評語上』

森山春雍1897『澳国博覧会参同紀要』「澳国博覧会への 参加方針」

米国博覧会事務局1876『米国博覧会報告書 第1巻 日本出品解説』

米国博覧会事務局1876『米国博覧会報告書 第2巻 日本出品目録』

米国博覧会事務局1876『米国博覧会報告書 第3巻 出品目部』

宮川泰夫2002『樺細工工芸の存立機構 : 都鄙の重合と 接遇の環境』

吉成直太郎1936『角館樺細工』

# (別表1) 秋田県の工芸品に関する博覧会出品受賞名簿 ■=判読不能

受賞	出品者	製作地	出品内容	講評・評価
ウィーン万	国博覧会(1873年明治6)	T		description delice which do not be a second
有功賞	秋田県		野代塗	有功ノ賞牌ハ製エノ精妙物品ノ高上ナルニヨリ貿 易ノ道ヲ開キシニヨリ益精好ノ器械を用ヒシニヨ リ及物品ノ廉直ニヨリテ衆ニ秀デシ者ニ興フ
フィラデル	·フィア万国博覧会(1876年明》 	台9)		
ブロンズ 賞	石岡 庄寿郎		漆製家具	今此漆説ノ未来。 本器・大家と、 本器・大家と、 本器・人変と、 大家に、 ない、 大が相、 大のと、 大が相、 大のと、 大が相、 大のと、 大が相、 大のと、 大が、 大が、 大が、 大が、 大が、 大が、 大が、 大が
	那波三郎右衛門		秋田畝織 三匹白	
第1回内国	勧業博覧会 1877年(明治10 	52点入賞内工芸関係16点	ī) [	ナルリクネーンボルリヘロコバカニボルボルグ
鳳紋賞	千葉条左衛門	秋田県羽後国秋田郡七 日市村	縞畝織 畝織、畝織男帯 八丈縞	本地ノ名産ニシテ他ノ企及スベカラザル所ハ糸 質ノ最良ナルト機織ノ巧熱トニアリ其無色ノモノ ハ星点分明ニシテタ斉整ニ其色染縞状ノモノハ幽 妍能ク時好ニ適ス而シテ価格亦廉ナリ勉励ノ効ヲ 観ルニ足ル
鳳紋賞	田中平八	秋田県羽後国秋田郡長 町下新町	大幅白畝織 田中平八他64名 保太徽、八丈畝織、八丈縞黒、八丈縞紺、畝、畝織帯 地白、畝織帯地縞、七子織、亀稜織、八丈縞、八丈 黒、八丈浮織、博多織錯紺、南部織錆紺、小伯縞、畝 織縞、奉書絹、八丈織太	畝織ハ従来本地ノ名産ニシテ他ニ比類ナキモノトス・・ 、本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
鳳紋賞	石岡 庄寿郎	羽後国山本郡能代萬町	能代漆器 大棚、掛棚、会席膳、広蓋、提重 椅子、巻真入	能代漆器ハ邦内無比ノ名産トス而シテ石岡氏ノ製 之カ最タリ伹其大棚ノ如キハ製状■套ヲ脱シ外観 起美ナリト競モ釘較出手等ノ装飾多量ノ純級ヲ費 スヲ以テ其価意ニ騰貴シテ到底精巧ヲ盆スニ至ラ ス其小棚ヒ壁掛小架ハ頗ル優美ニシテ製作ノ巧ヲ 観ルニ足レリ
花紋賞	妹尾兼徳	秋田県羽後国秋田郡手 形谷地町	白鳥毛織(白鳥毛木綿糸白地)、貉毛織(貉毛木綿糸 鼠色)	鳥毛若シクハ貉毛ヲ挿織ス奇巧ニシテ他ニ見ル罕 ナリ頗ル御冬ノ良物トス慣熟ノ製嘉ス可シ
花紋賞	那波三郎右衛門	秋田県羽後国秋田郡川端三丁目	白羽二重 槍山三枚橋町 斉藤貞ノ助 縞八丈 槍山笟町 斉藤吉衛門 白畝織 川口下裏町 北川豊太郎	純質美良ニシテ機織精緻ナリ白沢喜ブ可シ良エヲ 課シテ収集ニ勉ムルノ効ヲ観ル
花紋賞	山中新十郎	秋田県羽後国秋田郡大 町三丁目	稿八丈 権山南外張新町 福田徳三郎 白畝織 三枚橋町 坂本南右衛門 縞木綿 秋田郡倫山愛宕下茂名新町 永井金之助、赤埴助九郎、柴田徳之進	条質良好ニシテ機織妙巧ニ配状亦宜キニ適ス且称 低価ナルヲ覚フ良エヲ課シテ収集ニ勉ムルノ効ヲ 観ル
花紋賞	蓼沼新太郎	秋田県羽後国秋田郡川 尻	縦横縞畝織 畝織 紫蕨織 紫蕨綿と生糸	糸質織製共ニ善良且ツ星点ヲ逐ヲ繊縞ヲ施ス殊ニ 精新ナリ頗ル時様ヲ得タルモノトス意匠嘉ス可シ
褒状	佐藤恭吉	秋田県羽後国秋田郡川 尻村	縞畝織 紺地鼠色堅横縞 白畝織 水色 白練龍紋	機織配状共に佳ナリ其頗ル廉価トス勉励の製ヲ観 ルニ足ル
褒状	越後谷庄兵衛	羽後国山本郡能代馬喰町	能代漆器会席膳、広蓋、提重、卓、吸物膳	漆器未ダ其精ヲ得スト雖モ日用の什具ニシテ品位 ノ高尚ナルヲ観ル
褒状	中山松之助	羽後国山本郡能代大町	樹皮製品 香机(樺沈金彫)、菓子■	製形未夕宜シカラズト雖モ樺皮ヲ膠貼シテ沈金之 ヲ装ス称意匠ノ好キヲ観ル
褒状	山打三九郎	羽後国山本郡能代富町	能代漆器 角会席膳、広蓋、提重、角重、硯箱	重箱及ヒ硯箱ノ如キハ形状製作共ニ佳ナルヲ観ル
褒状	山田政五郎	秋田郡大館町	大館春慶漆器	製作称粗ナリト雖モ他ノ能代漆器ニ比スレバ価殊
褒状	渡邊萬蔵	仙北郡角館村	漆膳具樺皮印籠 膾春慶逸 膳具	ニ廉ナルヲ以テ家常ノ雑用ニ適セリトス 日常ノ什具品位卑シカラズ漆法モ亦可ナリ其印籠 ハ頗ル雅致アルヲ観ル
褒状	高取源内	羽後国雄勝郡岩崎町		   燕覆子蔓製ノ小盆炭斗等編綴シ得テ頗ル雅趣アリ   トス
褒状	堺五兵衛	羽後国秋田郡荒瀬村銀	数冬摺紙 飲久摺Ach 等久翔組 埔紅	印葉雅趣アリ襖及ヒ壁紙ニ適ス且廉価ニ製シ得バ
褒状	宮越精之進	山町		最妙ナラン 印葉雅趣アリ襖及ヒ壁紙ニ適ス且廉価ニ製シ得バ
~~~	小番光雄	羽後国由利郡天島城内		最妙ナラン
	奥山所左衛門	由利郡新澤村	藤布、藤皮自	
	和田三郎太	►	白木綿	
	佐々木利三郎     伊藤喜兵衛	平鹿郡横手町	綾木綿	
	竹屋久五郎	秋田市川反二丁目	大嶋清左衛門 煙管	
	竹屋金之助   石井権六	羽後国山本郡能代大町	茶棚 (檜春慶塗)	
	加藤忠右衛門	雄勝郡三梨村	角千蓋盆 替盆黒蒔絵、朱沈金	
	佐藤六郎右衛門他2名	雄勝郡三梨村	<b>登盆黑時絵、朱江金</b> 吸物椀朱蒔絵	
	阿部栄吉 (阿部市郎兵衛他2名)	雄勝郡三梨村	吸物椀黑沈金	
	加藤駒吉	雄勝郡大館村	会席膳黒、会席碗朱	
	髙橋亀蔵	雄勝郡川連村	角大平朱蒔絵	

受賞	出品者	製作地	出品内容	講評・評価
	髙橋治右衛門	雄勝郡川連村	丸大平朱沈金	UTTP I HI ING
	伊勢善右衛門 阿部 助	1		
	古関兵助	雄勝郡川連村	碗黒、碗朱	
	沓沢利兵衛	雄勝郡川連村	莨盆 外黒内梨地手付	
	利部内蔵之助	秋田郡黒沢村	イタヤ 箕、葛籠	
	加藤専四郎	濱田村	蔓籠	
パリ万国博	算覧会 1878年(明治11) -			
賞状	石岡 庄寿郎		春慶塗盆、茶棚、提重、膳   巻煙草入	
第3期秋田	日博覧会(八橋植物園) 1880年	年(明治13)		
一等賞牌	那波三郎右衛門	南秋田郡川反三丁目	秋田平袴地、亀綾織品々	
三等賞牌	山中新十郎	南秋田郡大町三丁目	縞木綿品々	
三等賞牌	蓼沼新太郎	南秋田郡川尻村	絹上布女帯見手本	
三等賞牌	佐藤恭吉	南秋田郡川尻村	絹上布女帯見手本	
三等賞牌	田中平八	南秋田郡長野下新町	白畝織八丈縞	
三等賞牌	大和田清風	南秋田郡築地東上町	白木綿	
三等賞牌	黒丸タケ	河辺郡百三段新屋村比 内南町	八丈縞	
第2回内国	国勧業博覧会 1881年(明治14) -	31点入賞		
有功賞	石岡 庄寿郎	秋田県羽後国山本郡能 代萬丁	春慶漆器	各種ノ器具価格貴シト雖モ素材至良ニシテ漆面ニ 斑類ナリ製作基巧ナリ殊ニニ十個ノ椀ノ形体端ー ニシテロ端皆吻合スルカ如キハ他エノ能ク企及ス 可キニ非ス其有功嘉賞ス可シ
褒状	清岡行三	秋田県羽後国南秋田郡 上長町	白畝織、八丈織	白畝織ハ地質柔靱ニシテ経久ニ耐フ八丈織ハ縞状 良好ニシテ価値モ亦廉ナリ頗ル嘉ス可シ
褒状	山中新十郎	秋田県羽後國南秋田郡	稿八丈	組織完整縞状佳良ニシテ価値モ亦貴カラス頗ル嘉
		大町 秋田県羽後国南秋田郡		ス可シ 白畝織ハ地質柔靱ニシテ■經久ニ耐フ縞畝織亦佳
褒状	那波三郎右衛門	川端	白畝織、縞畝織	良ニシテ価値貴カラス頗ル嘉ス可シ
褒状	千葉條左衛門	秋田県羽後国北秋田郡 七日市村	白畝織	純質純白精良ニシテ組織完製ス価値モ亦貴カラス 頗ル嘉ス可シ
褒状	藤田長右衛門	秋田県羽後國仙北郡角 館上新町	春慶漆器 会席膳、三味線形盆、角盆、器具膳	勝盆ノ類途抹稍粗ナリト離モ価格低廉ニシテ日常 ノ用ニ適ス其平盆ノ如キハ■■少シク注意ノ在ル アリ頗ル嘉ス可シ
褒状	渡邊萬蔵	秋田県羽後國仙北郡角 館岩瀬町	春慶漆器	勝盆ノ類塗抹稍粗ナリト雖モ価格低廉ニシテ日常 ノ用ニ適ス其平盆ノ如キハ■■少シク注意ノ在ル アリ頗ル嘉ス可シ
褒状	安藤正兵衛	秋田県羽後国仙北郡角 館岩瀬町	櫻皮諸器	編製ノ法未タ熟セスト雖モ色澤称浄クシテ需要ニ 供スルニ足ル頗ル嘉ス可シ
なし	藤田吉之助	秋田県羽後国仙北郡角 館上新町	春慶塗 吸物膳、広蓋、塗盆、机	
なし	山田政五郎	北秋田郡大館町	会席膳、水盆	
なし	髙橋利兵衛	雄勝郡川連村	朱塗鐘、青漆塗徳利、朱塗吸物椀、黒内朱吸物椀、会	
なし	佐藤七郎兵衛	雄勝郡川連村	席膳、木砂鉢木盃	
	算覧会 1889年 (明治22)			
銀賞 33	蓼沼 啓吉		畝織物八丈	
銅賞 29	石岡 庄寿郎			
銅賞 33	河井 忠久			
第3回内国	国勧業博覧会 1890年 (明治23)			
有功三等	石岡庄寿郎	秋田県山本郡能代港町	文台、会席膳	
有功三等		金子駒三郎	白畝織	
	金子駒三郎	秋田県由利郡本庄町	III PATINA	
褒状	金子駒三郎 大坂亀吉	秋田県由利郡本庄町 秋田県山本郡能代港町	吸物椀	
褒状 褒状				
	大坂亀吉	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内	吸物椀	
褒状	大坂亀吉越後庄兵衛	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町	吸物椀 会席膳	
褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内 村	吸物椀 会席膳 白畝織	
褒状 褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内 村 秋田市長野下新町	吸物椀       会席膳       白畝織       白畝織	
褒状       褒状       褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉 川村永之助	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内 村 秋田市長野下新町 南秋田郡川尻村	吸物椀       会席膳       白畝織       白畝織       縞織畝	
褒状 褒状 褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉 川村永之助 川井忠久	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内村 秋田市長野下新町 南秋田郡川尻村 秋田市大町二丁目	吸物椀       会席膳       白畝織       紡織畝       畝八丈	
褒状 褒状 褒状 褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉 川村永之助 川井忠久 妹尾金吾	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内 村 秋田市長野下新町 南秋田郡川尻村 秋田市大町二丁目 南秋田郡川尻村 秋田市上川口 秋田県仙北郡角館町	吸物椀       会席膳       白畝織       á織畝       畝八丈       黄八丈       白畝織       権製名刺入	
褒状 褒状 褒状 褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉 川村永之助 川井忠久 妹尾金吾 信太長治 黒澤清太 大久保易太郎	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内 村 秋田市長野下新町 南秋田郡川尻村 秋田市大町二丁目 南秋田郡川尻村 秋田市上川口 秋田県仙北郡角館町 秋田県仙北郡角館町 秋田県郷田東町	吸物椀       会席膳       白畝織       白畝織       総織畝       畝八丈       古畝織       樺製名刺入       春慶途       書棚、隅棚、卓、花筒	
褒状 褒状 褒状 褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉 川村永之助 川井忠久 妹尾金吾 信太長治 黒澤清太	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内 村 秋田市長野下新町 南秋田郡川尻村 秋田市大町二丁目 南秋田郡川尻村 秋田市上川口 秋田県仙北郡角館町 秋田県加北郡角館町 秋田県羽後国山本郡能 代野町富町 秋田県羽移田山北郡角館町上新町二六番地	吸物椀       会席膳       白畝織       白畝織       鉱八丈       黄八丈       白畝織       棒製名刺入       春慶途       書棚、隅棚、卓、花筒       春慶       会席膳、半月盆	
褒状 褒状 褒状 褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉 川村永之助 川井忠久 妹尾金吾 信太長治 黒澤清太 大久保易太郎	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内村 秋田市長野下新町 南秋田郡川尻村 秋田市大町二丁目 南秋田郡川尻村 秋田市上川口 秋田県仙北郡角館町 秋田県明富町 秋田県羽後国山本郡能 代湊町三二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	吸物椀 会席膳 白畝織 白畝織 総織畝 畝八丈 黄八丈 白畝織 棒製名刺入 春慶途 春慶。 唐棚、卓、花筒 春慶 会席膳、半月盆 春慶	
褒状 褒状 褒状 褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉 川村永之助 川井忠久 妹尾金吾 信太長治 黒澤清太 大久保易太郎	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内 村 秋田市長野下新町 南秋田郡川尻村 秋田市大町二丁目 南秋田郡川尻村 秋田市上川口 秋田県仙北郡角館町 秋田県羽後国山本郡能 代湊町富町 秋町県羽後国仙北郡角 町上新町二六番地 秋田県新町二九番地	吸物椀 会席膳 白畝織 白畝織 紡織畝 畝八丈 黄八丈 白畝織 棒製名刺入 春慶途 書棚、隅棚、卓、花筒 春慶 春慶 春磨	
褒状 褒状 褒状 褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉 川村永之助 川井忠久 妹尾金吾 信太長治 黒澤清太 大久保易太郎 藤田ノブ 藤田長右衛門	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内 村秋田市長野下新町 南秋田市大町二丁目 南秋田市大町二丁目 南秋田郡川尻村 秋田県羽衛田山本郡 代湊町富町 秋田県羽御国山本郡的 (大田県新町二六北北郡 東新町四川 秋田県新町二二十北郡 東新町四川 秋田県新町四川 秋田県新町四川 秋田県新町四川 秋田県新町四川 東新町田県新町四川 秋田県新町四川 秋田県新町四川 東新町四川 東新町四川 東新町四川 北田県田県新町田県 北田県北郡角 は町上郡角 は町上郡角 は町上郡田県 北田県田田県 大田県田県新町田県 北田県田県 北田県田県 北田県田田県 北田県田田県 北田県田田県 北田県田田県 北田県田田県 北田県田田県 北田県田田県 北田県田田県 北田県田田田田田田田田	吸物椀       会席膳       白畝織       縞織畝       畝八丈       貴八丈       白畝織       棒製名刺入       春慶強       書棚、隅棚、卓、花筒       春慶       会席膳、半月盆       春慶膳       春慶膳       春慶膳       春慶膳       春慶膳       春慶膳       春慶膳       春慶膳       春慶膳       春慶       春慶膳       角盆       春慶	
褒状 褒状 褒状 褒状 褒状	大坂亀吉 越後庄兵衛 日景辨吉 田中久吉 川村永之助 川井忠久 妹尾金吾 信太長治 黒澤清太 大久保易太郎 藤田ノブ 藤田ノブ 藤田長右衛門 芳谷吉右衛門	秋田県山本郡能代港町 秋田県山本郡能代港町 秋田県北秋田郡釈迦内 村 秋田市長野下新町 南秋田郡川尻村 秋田市大町二丁目 南秋田郡川尻村 秋田県北郡角館町 秋田県新町と国山本郡角 館町県羽後国山本郡角 館町上新町三二和北郡角 館町上新町田二部地 秋田県羽後国山番地 秋田県羽後国山番地 秋田県羽後国山番地 秋田県羽後国山番地 秋田県羽後国山番地	吸物椀       会席膳       白畝織       縞織畝       畝八丈       古い織       樺製名刺入       春慶園       無棚、車、花筒       春慶       会席膳、半月盆       春慶       会席膳、米月、       春慶       会席膳、大角、       春慶       会席膳、大箱、       現場、	

受賞	出品者	製作地	出品内容	講評・評価
- 24	佐藤常吉	321176	吸物椀	DPPHI HIMA
シカゴ・コ	ロンブス万国博覧会 1893年(	· 明治26)		
ブロンズ	石岡 庄寿郎			
	池田 勘左衛門		絹布	
	辻 兵吉		絹布	
第 4 同内国	大坂 亀吉  勧業博覧会 1895年(明治28)			
有功3等	田中久吉		縞八丈各種	
有功3等	泉勘六		白畝織	
有功3等	石岡庄寿郎		春慶塗各種	
パリ万国博	覧会 1900年(明治33)			
	樋渡 利三郎		菓子匣、盆類各種、銀菓子器其他	
名誉賞	竹谷 金之助		湯沸、急須、襟錺ピン、銀湯沸其他、銀菓子器他	
<b>コロンブス</b> ブロンズ	.万博 1902年(明治35) 石岡 庄寿郎			
	1903年 (明治36)			
3等賞	石岡庄寿郎	能代港町	会席膳 春慶塗旺目角形船底会席膳、春慶塗杢目合掌鮑目引会 席膳、春慶塗箸、春慶塗大形冠蓋硯箱、春慶途杢目 透八寸台、春慶途春禄禄硯箱、春慶塗桂百 養慶塗六角筆立、春慶途足杯台、春慶塗排形煙草盆、春 慶塗市衛、春慶塗七台、春慶途是本 春慶塗留籍,春慶金七台、春慶金 春慶塗署箱、春慶金七台、無地盆、春慶強 付付、春慶盛六寸角形無地、春慶強田剛鉋目引盆、春慶 塗六角第子盆、春慶塗四以足卓、春慶 塗森綠菓子重	
褒賞	大坂亀吉	山本郡能代港町富町 四二	木膳 春慶塗足付本膳、春慶塗会席膳、春慶塗菓子盆、春慶 塗反菓子盆、春慶塗印籠、春慶塗硯箱	
3 等賞	田中久吉	秋田市西根小屋町中町	八丈稿 絹織物厚織白畝織、絹織物薄織白畝織、絹織物縞畝 織、絹織物縞八丈	
3等賞	泉勘六	雄勝郡湯澤町七七二	絹織物縞畝織 絹織物白畝織、絹織物白畝斜子、絹織物白斜子、絹織 物白羽二重、絹織物縞畝織、絹織物八丈畝織、絹織物 縞八丈、絹織物白畝織大巾兵見帯、絹織物中巾、絹織 物節織中巾、絹織物小巾、絹織物鼠色、絹織物太糸織	
3等賞	那波三郎右衛門	秋田市川反三丁目一	紋羽三重 絹織物大巾畝織、絹織物大巾紋畝、絹織物畝織大太 物、絹織物織軍羽織地、絹織物禘五丈物、絹織物紋沼 三重、絹織物絡八丈、絹織物特地、絹織物紋畝織五丈 物、絹織物絡的織、絹織物八大風通織、絹織物女帯 地、絹織物畝織服砂大巾、絹織物畝織中巾、絹織物畝 織並巾、絹織物大巾紋就織ハンカチーフ、絹織物大巾 紋綾ハンカチーフ、絹織物中巾ハンカチーフ	
褒賞	出羽物産合資会社川連支店	雄勝郡川連村大館	会席膳 黒内朱九寸五段重台付白彫、朱八寸五段重台ナシ沈 金、黒尺三寸会席艶消、黒内朱汁椀、黒加々丸吸椀沈 金、洗朱牡丹形沈金吸椀、黒硯箱蒔絵付	
褒賞	越後庄一郎	山本郡能代港町上町	春慶途卓 春慶途茶酌、春慶途掛物軸、春慶途筆軸、春慶途櫛、 春慶途營、春慶途提菓子重、春慶途三ツ組菓子重、春 慶塗湯桶、春慶塗短冊箱	
褒賞	妹尾兼治	秋田市保戸野川端町	絹織物白畝織 絹織物玉糸織袴地、絹織物白畝織厚織、絹織物白畝織 薄織、絹織物綾八丈、絹織物縞八丈	
褒賞	妹尾東七郎	秋田市保戸野新村一〇	白畝織 絹織物白畝織、絹織物玉糸織袴地、	
褒賞	田中二輔	秋田市船大工町	八丈縞 絹織物縞八丈	
褒賞	佐藤多吉	秋田市大町三丁目二七	八丈稿 絹織物白畝織、絹織物斜子、絹織物縞畝織、絹織物縞 八丈	
褒賞	坂本南右衛門	秋田市楢山三枚橋二三	絹織物八丈縞 絹織物白畝織、絹織物綾畝織、絹織物縞八丈	
褒賞	山崎忠治	南秋田郡土崎湊町本山町	綿織物、木綿織	
褒賞	新為昇蔵	由利郡亀田町亀田大町	木綿織、綿織物袴地、綿縞	
褒賞	佐藤雄次郎	由利郡亀田町富田	紫蕨織 毛交織物(蕨天然無地綾)毛交織物(蕨天然鼠無地 綾、毛交織物(蕨天然結綾)、毛交織物(蕨天然鼠縞 綾)、毛交織物(蕨天然平織)	
褒賞	佐藤幸次郎	由利郡本荘町美倉町	木綿紺色染 染物鳥羽紺、染物木綿絣	
褒賞	工藤勘吉	由利郡本荘町油小路	木綿織 綿織物	
褒賞	小笹銀助	河辺郡牛島町六五	木綿紺色染綿織物、正紺染、染物正紺染	
褒賞	山本長吉	河辺郡新屋町	木綿織	
			線織物正紺染 八丈縞 組織物白対線 組織物線八寸取十九 網維物線八寸取	
褒賞	三浦嘉助	河辺郡新屋町	絹織物白畝織、絹織物縞八丈堅大巾、絹織物縞八丈堅 横、絹織物縞八丈横縞、絹織物縞八丈竪縞	
褒賞	高橋嘉厳	平鹿郡横手町栄通町三一	木綿緋染 綿織物霜降地飛白模様、綿織物霜降地飛白中模様、綿 織物霜降地大模様 綿織物霜降地飛白 栗工風、綿織物霜降地大白模様、綿 織物小放入射形、綿織物白技排形、綿織物射無地、綿 織物小女人射形、綿織物白技排形、綿織物射無地、綿 織物呼千草、綿織物紺地茶・19糸縞、同月鼠ヨリ糸 縞、綿織物紺地茶糸入縞、綿織物紺地鼠糸入縞、綿織 物紺地白地縞、綿織物霜降地大榛入紺形	

受賞	出品者	製作地	出品内容	講評・評価
褒賞	大部隆吉	平鹿郡横手町裏町一〇	白畝織 絹織物白畝織、絹織物糸織、絹織物秋田八丈	
褒賞	田口小野吉	仙北郡角館町上新町	金巾裏地絣色染物が付染、染物紺カナキン、染物紺キヤラコ、染物千草、染物紺木綿	
褒賞	池田勘左衛門	仙北郡刈和野一二五	白畝織 白畝織 網織物稿八丈店野織縦、網織物稿八丈縦、網織物畝織	
褒賞	平福善蔵	仙北郡角館町横丁一二	秋田織黒紋付染	
	加藤富太郎	雄勝郡川連村宇大館	染物黒絹織紋付、染物紺木綿裏地、染物濃紺木綿裏地   黒重箱	
		——五 ###################################	- 蔣	
	守屋源之助	雄勝郡川連村	三組盃	
	加藤喜太郎	雄勝郡三梨一二	<b>現</b> 箱	
	植渡千代治	雄勝郡川連村	皆朱二尺五寸ツル足付広蓋、惣黒菓子椀、惣黒乱盆蒔絵付、皆朱八寸五段重、外蝋内裏梨地衣盆、外溜内朱柿形吸椀沈金付、洗朱富士形吸椀吉野絵付、黒内亦駒形吸椀沈金付、外洗朱内黒名刺盆絵付、外黒尺三寸会席膳蒔絵付、研出台付参草草入、皆朱通盆大小蒔絵付、洗朱尺四寸角皿鉢、菓子椀	
褒賞	高橋久三	雄勝郡川連村川連	梨地菓子器 外黒呂色内裏梨地九寸五段重台蒔絵付、梨地名刺盆蒔 絵付、洗朱牡丹形吸椀吉野絵付、洗朱尺三寸会席吉野 絵付、黒呂色蒔絵付衣盆、梨地菓子盆蒔絵付、透絵付 菓子器台付、黒内朱蓋付椀	
褒賞	佐々木豊吉	南秋田郡太平村黒澤	箕 人大中小	
褒賞	本堂富之助	秋田市保戸野愛宕町 二四	銀製茶器各種 純銀製急須丸形、純銀製湯沸、純銀製茶箕、純銀製菊 葉形茶托、純銀製蕗葉形銅茶托、純銀製蓮葉形銅茶 托、制意急須代用銚子、純銀製鐘、純銀製三ツ組盃、 純銀製湯冷、銀製パイプ台	
褒賞	音羽彌一郎	秋田市本町五丁目	銀製匙 純銀製湯沸、純銀製急須、純銀製茶托、純銀製菓子 皿、銀製匙、銀製箸、銀製銀張箸、指輪銀製、紐掛銀 製、銀製バイブ台	
褒賞	竹谷金之助	秋田市川端二丁目三	無製品各種 指輪製製、銀製箸、銀製匙、純銀製為沸櫻彫、純銀製 按二千鳥彫、純銀製石打目、純銀製角繋幣、純銀製 膨、純銀製協用。純銀製店地一純網製角繋不目打大 減銀製角紫本際、純銀製店彫一純網製店彫為,納銀製 純銀製魚須波彫、純銀製樓彫、純銀製店彫屬,純銀製 純銀製魚須波彫、純銀製標彫、純銀製店彫屬,純銀製 相銀製整店彫能,純銀製和自製製型 用地、純銀製店彫能,紅銀製 形、純銀製片少形。 純銀製白繋協目 形、純銀製土生 形、純銀製土生 新銀製工業形、純銀製店 形、純銀製土岩 排出、純銀製工業形、純銀製店 新銀製工業 新銀製店 新銀製工業 新銀製店 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新製製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新銀製工 新製工 新製工 新製工 新製工 新製工 新製工 新製工 新	
褒賞	竹谷勝蔵	秋田市川端二丁目三	銀製時計警各種 煙管純銀製、時計純銀製、パイプ純銀製、前金物純銀 製、緒締純銀製、時計鎖純銀製、指輪銀製	
褒賞	澁谷金治	秋田市川端三丁目一三	銀製品各種 純銀製盃大中小、純銀製急須、純銀製蕗彫、純銀製湯 沸大小、純銀製コップ、純銀製茶卓、純銀製時計鎖、 純銀製上信形煙管、純銀製石州形煙管、純銀製バイ プ、銀製匙、銀製箸	
褒賞	佐藤福蔵	秋田市田中町二二	純銀製煙管	
褒賞	藤木伝四郎	仙北郡角館町下新町 四五	權製菓子入及巻度 構細工印籠三段、権細工置煙草入、棒細工表皮製、棒 細工縮緬皮製、棒細工茶箪笥、棒細工衣桁用、棒細工 花筒、棒細工養整筒、棒細工新皮製、棒 標細工質如草入、棒細工格力/シシ、 棒細工質如草入、棒細工工茶入、棒細工中形、 細工菓子重台和工箱枕、棒細工茶入、棒細工中形、 細工菓子重台和工箱胶、棒細工参厚 之無双形、 機皮製、棒細工網路及製、棒細工粉上 製皮製、棒細工體戶上 型製、棒細工體戶上 型製、棒細工學工草分表皮製、棒網工格形提煙草分形及 型製、棒細工工與形是使草入表皮製、棒網工格形提煙草 草入表皮製、棒細工以形提煙草入並皮製、棒網工 草入、会席膳、盆、盆漆フキ上ゲ、砚箱、状箱、状箱 添フキ上ゲ	
褒賞	長松谷弟蔵	仙北郡角館町下岩瀬町 一九	權製品各種 權細工茶箕、樺細工菓子重、樺細工附戸盆、樺細工茶 箪笥、樺細工床柱、樺細工柱隐、樺細工衣桁用、樺細 工雜面、樺細工置煙草入縮緬製、樺細工分銅形、棒細 工並形鉛形、樺細工東形、樺細工提ケ巻煙草入船形筒 付前蓋用、樺細工提ケ巻煙草入和縫、樺細工提ケ卷煙 草入縮緬皮、樺細工煙管筒惣樺卷揚製、樺細工巻煙草 入無双形裏樺製、樺細工巻煙草入無双形銀樺製、樺細 工卷煙草入磨、樺細工卷煙草入無双大形磨、樺細工眼 鏡入、樺細工名刺入	
	宫越精之進	秋田市東根小屋町一三	染物蕗摺畝織帛紗鯨尺二尺巾、染物蕗摺畝織帛紗鯨尺 一尺八寸、染物蕗摺畝織帛紗鯨尺二块纳蕗猪畝織 帛紗鯨尺四寸、染物蕗猪畝織帛紗鯨尺四寸、染物蕗猪 或繼帛紗鯨尺二寸、染物蕗摺畝織帛紗鯨尺一寸、染物 蕗摺畝織帛紗鯨一尺一寸、染物蕗摺畝織帛紗鲸一尺 染物蕗摺畝織女带、染物蕗摺襟地、染物蕗摺羽織裏 地、尖物蕗摺縮常褐、染物蕗摺页鍁織帛紗大中 小、染物蕗摺綿巾帛紗大中小	
	田中徳蔵	秋田郡上小阿仁村小澤 田	絹織物白畝織	
	田中徳蔵	秋田郡上小阿仁村小澤田	絹織物白畝織	
	湯瀬哲太郎	秋田市中亀ノ丁末町	交織物絹綿利用織	
	古道豊吉	秋田市大町三丁目	絹織物縞八丈	
	山崎忠治	南秋田郡土崎湊町本山町	綿織物	
	小野千代松	山本郡能代港町畠町	絹織物白畝織、絹織物黄八丈、絹織物吉野織	
	佐用健蔵	秋田市室町三	染物蕗摺風呂敷	

受賞	出品者	製作地	出品内容	講評・評価
~~	渡邊幸助	河辺郡牛島町牛島	綿織物徳用縞	итти и пм
	大島金治	河辺郡新屋町	綿織物正紺縞	
	門脇助内	河辺郡新屋町	綿織物飛白	
	相厚しの	河辺郡新屋町	綿織物飛白	
	小田切猪太郎	鹿角郡花輪町	綿織物紫染	
	小田切善五郎	鹿角郡花輪町	綿織物紫染	
	小田島源太郎	鹿角郡花輪町	綿織物紫染	
	村山長次郎	鹿角郡花輪町	綿織物紫染	
	佐藤練助	鹿角郡花輪町	綿織物紫染	
	齋藤時之助	鹿角市花輪町	綿織物紫染	
	和田平三	由利郡亀田町	綿織物縞	
	那須春齊	由利郡亀田町	綿織物縞	
	松永傳兵衛	由利郡亀田町亀田	綿織物、綿織物縞	
	佐々木長蔵	由利郡亀田町亀田大町	綿織物縞絣、綿織物縞、綿織物	
	菊地豊和	由利郡亀田町亀田亀田町	絹織物縞八丈	
	加川久治	平鹿郡横手町四日町下三四	瓦斯縞青茶網糸入、瓦斯縞青茶中柄網糸入、瓦斯縞茶 - 星入、瓦斯縞鼠ノ大明、改良縞茶カラミ大明、改良 鼠縞、改長縞絹糸入、網織物青茶一本縞、交織物瓦斯 赤茶袴也三本一本、交織物瓦斯青茶二本一本袴地、交 織物網糸白茶中柄、交織物瓦斯茶鼠柄入縞、交織物絲 人大柄、交織物赤黄燃入大縞、交織物赤茶杯	
	高坂孫三郎	平鹿郡横手町四日町中町六	交織物瓦斯紺トロメン、交織物綿紺トロメン、交織物 瓦斯紡織縞、交織物糸入瓦斯杉織、交織物瓦斯八ツ細 織、交織物瓦斯部糸入、交織物地織立縞、交織物糸入 立、交織物絣入立縞、交織物絣入節織	
	小松孫兵衛	平鹿郡横手町四六	本綿而改良稿、木綿上紺縞、木綿切紺織、木綿改良 綿洗涤、染物木綿稱無土紺、染物木綿紺無 地、染物木綿 物木綿 物木綿 物木綿 物木綿 一 物木綿 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
	織田辰五郎	平鹿郡増田町増田 四三四	綿織物横縞、綿織物青縞、交織物瓦斯織、染物紺色木 綿、染物紺形付木綿、染物木綿浅黄絞	
	大塚易蔵	平鹿郡浅舞町	染物柳絞木綿	
	加賀屋仁右衛門	平鹿郡浅舞町	染物七絞	
	石川春治	平鹿郡角間川町字町頭	交織物紫蕨織浅黄地、交織物鼠色地、交織物大纃入、	
		七七 平鹿郡栄村新藤柳田	交織物中續入、交織物小續入	
	照井しも	一四	綿織物三桝飛白ガス木綿	
	菅原サキ	平鹿郡栄村大屋新町 八九	絹織物生糸門一楽織、交織物瓦斯得草織	
	太田酉之助	雄勝郡湯澤町三八五	絹織物黄八丈縞、絹織物黄縞八丈	
	信田虎之助	仙北郡角館町下岩瀬町 六	綿織物白縞、綿織物茶縞、綿織物中割縞、綿織物絣入 縞、綿織物變(変)柄縞	
	宮本松三郎	仙北郡角館町下岩瀬町	綿織物ガス白畝織一本横、綿織物二本横、綿織物黒畝 紋付、綿織物吟千草、綿織物吟花色	
	宮本敬三郎	仙北郡角館町下岩瀬	織物ガシ畝織飛入、織物棒綿、織物珍ガラ、織物真綿織白地、織物飛白人、織物綿ガス交袴地茶棒、織物鼠棒、織物をガラ、織物視カラ、織物飛白入米ガラ、織物は軽ガラ、織物は白人茶ガラ、織物水組満大明、織物棒縞、織物飛入大ガラ、織物飛白入小ガラ、織物飛白人小ガラ、織物等線、線物系は入、織物を地茶棒、織物鳶茶棒	
	宮本庄之助	仙北郡角館町下新町 二〇	染物形付染、染物紋紺木綿、染物秋田紺木綿花色木 綿、染物秋田紺木綿、染物花色木綿	
	進沼忠蔵	仙北郡角館町小人町 二〇	組織物白畝織、組織物稿畝織、組織物稿八丈、組織物 小割八丈稿、組織物構付八丈、組織物稿中割稿、組織 物待地	
	小林文右衛門	仙北郡角館町岩瀬町一	絹織物白畝織、絹織物縞八丈	
	沼田ヨソ	北秋田郡大館町	絹織物縞八丈、絹織物綾八丈、絹織物白畝織、絹織物 白畝綾織	
	日景房治	北秋田郡釈迦内村大字 釈迦内	絹織物白斜子織	
	長野谷長四郎	南秋田郡土崎湊町愛宕 町	綿織物	
	蓼沼敬吉	南秋田郡川尻村一一	絹織物縞八丈	
	佐藤房太郎	南秋田郡川尻村二二四	絹織物縞八丈	
	佐藤孝太郎	南秋田郡川尻村二二二	<b>絹織物縞八丈</b>	
	川連漆器出品		漆器各種 	
	上杉徳次郎	鹿角郡毛馬内町毛馬内 三二九	茶湯釜霰巴形、茶湯釜寸堂形、鉄瓶霰寸堂形、鉄瓶寸 胴形、鉄瓶吾住家形、鉄瓶貨玉形、鉄瓶鶴首、鉄瓶霰 貨玉形、鉄瓶東屋形、鉄瓶電士形、鉄瓶輪口広口形、 鉄瓶茄子形、鉄瓶巻筒形、鉄製陶器形、鉄瓶寸胴形	
	石川友吉	秋田市鍛治町上川反 一八	唐物形雨龍模樣紫銅火鉢、花鳥梅二鶯模樣紫銅火鉢 唐物形波二千鳥模樣紫銅火鉢、花鳥形唐草模條紫銅火 鉢、唐物切立形無地紫銅火鉢、花鳥模條瓶形/紫銅火 鉢、鉄瓶、鉄瓶坐高堂形、鉄瓶富士形、鉄瓶大皷形、 鉄瓶风張形、鉄瓶鶴嘴形、鉄瓶雨龍形、鉄瓶國師形、 鉄瓶萬代矢形	
	澁谷富五郎	秋田市川端三丁目一三	純銀製盃、銀製煙管	

四川以下部   利用地大利電 日日日日   被称形式 東部新版図	受賞	出品者	製作地	出品内容	講評・評価
		内田又十郎	秋田市本町五丁目四一	純銀製盃、純銀製盃彫刻、パイプ純銀製	
新地田   新田田   新田		進藤蓮治		銀盃、銀コップ、銀急須、銀簪、銀烟管、金銀玉附 簪 銀指輪 銀毛抜 銀帯止 銀時計鎖	
中国 第2299					
### 17 中 7 四 四 元					
(株田田古 ) 他と世外所明 安村町   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日			北秋田郡大館町東大館		
### 12					
		條田道吉	仙北郡角館町歩行町三		
当次日本   日本		黒澤清太	仙北郡角館町東勝楽丁 一三	煙草入盆付縮緬皮、樺細工巻煙草入星皮製、樺細工提   煙草入筒付き銀皮製、樺細工提煙草入樺巻縮緬皮製、	
# 対抗田ボ下小物に対理		経徳斐太郎	仙北郡角館町田町下町 三		
本族和郡下小卯仁村瀬		御所野春成		權細工置煙草入、樺細工巻煙草入、樺細工茶菓子入、 樺細工菓子入台	
## 148日8下小河仁村籍		御所野要蔵		莨入箱、樺細工中折巻莨入、樺細工カブセ蓋巻莨入、   樺細工角形置莨入、樺細工丸形置莨入、樺細工黒皮煙   管筒、樺細工黒皮下ケ煙草入、樺細工霜降皮煙管筒、	
文会李嚴 第		御所野秀治	北秋田郡下小阿仁村鎌 澤	權細工煙草入形權煙草入、權細工已角付權煙草入、權 細工小判形付權煙草入、權細工紙折	
お田上大阪田下   お田上大阪田下   お田上大阪田下   初田上大阪田下   初田上大阪田市   和田上大阪田市   和田上大阪市   和田上大阪田市   和田上大阪田市   和田上大阪田市   和田上大阪田市   和田上大阪田市   和田上大阪田市   和田上大阪日市   和田大大阪日市   和田大阪日市   和田大阪日市   和田大阪田市日市   和田大阪日市   和田大阪田市日市   和田大阪田市日市   和田大阪田市日市   和田大阪田市日市   和田大阪田市日市   和田大阪田市日市   和田大阪田市田市日市   和田大阪田市田市日市   和田大阪田市日市   和田大阪田市日市   和田大阪田市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日市日		大倉幸蔵		草入、樺細工廻シ蓋巻煙草入、樺細工煙草入形樺煙草	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		渡部千代吉		竹細工炭取菱形、竹細工炭取丸形、竹細工手籠	
本生飲蔵		畠山小文治	秋田郡大館町	春慶七ツ鉢、黒七ツ鉢、外黒内朱七ツ鉢、三ツ重飯鉢	
本住收藏		越後庄兵衛			
□ 山北郡角館町上新町 □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		木庄敬蔵		春慶胴張会席膳角形、春慶筋立、春慶硯箱、春慶状	
一型		渡邊菊蔵	仙北郡角館町二七	春慶角小箸、春慶丸小箸	
一型		小林新太郎		重箱、二枚折衣桁用、会席膳、丸扇子形入子組、櫻形 入子組、六角形入子組、替盆、状箱、硯箱、箸箱、巻 煙草入、箸入、五重二枚蓋	
古閱金拾館  平應都增田町增田四七  本問寬助  雄勝郡川連村大館八八  描勝郡川連村大館  上短利吉  雄勝郡川連村大館  上坂利吉  雄勝郡川連村大館  造島 類型子型大泉 美地東子龍、東路東海給竹吸桐、黒内  朱木楠、田田 大田 一大田 一大田 一大田 一大田 一大田 一大田 一大田 一大田 一大		小松松四郎		木地蝋塗臺斗、洗朱研出絵文台、青貝散布塗花台、研	
本問意助    建勝郡川連村大館八人   古関新左衛門   建勝郡川連村大館   拉藤時能八、洗牛等地花為訴奏付収納、黒内朱汁椒、皆朱三ツ組木盆、梨地菓子盆   注版   接勝郡川連村大館   法朱彬形吸椀、洗朱茶盆足付、洗朱茶盆   上扳利吉   推勝郡川連村大館   法朱彬形吸椀、洗朱茶盆足利、洗朱基如果介或碗   连聚郡川連村大館   三色名刺盆斯验付   近米集市形吸椀   赤張基川賀大吸椀   三色名刺盆斯验付   近米集市形吸碗   大學生年籍   接下   大學生年   接來市形吸碗。   在   接來市形吸碗。   在   接來市形吸碗。   在   接來市形吸碗。   在   接來市   大學生年   在   接來市   大學生年   在   接來市   大學生年   在   接來市   大學生年   在   在   在   在   在   在   在   在   在		古関金治郎			
上版利吉 雄勝郡川連村大館 洗朱重箱五段、洗朱柿形吸椀、布張抜黒加賀大吸椀 名德 雄勝郡川連村大館九二 经色名刺盆蒔絵付、不用シ花台、外呂色内葉梨地手箱 総付、入周ノ外呂色内葉梨地手箱 総付、入周ノ外呂色内葉梨地手箱 総付、入周ノ外呂色内葉梨地手箱 総付、入周ノ外呂色内葉梨地手箱 総付、入周ノ外呂色内葉梨地手箱 総付、入周ノ外呂色内葉梨地手箱 総付、入周ノ外足所之金付 禁朱蓋付汁椀、皆朱能形映椀絵 付、黒内朱戸隸吸碗沈全付 皆朱下之寸丸挽鉢蒔絵付、洗手蓋汁碗、惣黒内洗朱五 复重合付無地 經縣郡川連村 黑内朱一尺五段重 福絲行吸椀 黑内朱一尺五段重 高橋京助 雄勝郡川連村 黑内朱一尺五段重 外黑呂色内梨地盆、透絵付砚箱 馬衛新中 雄勝郡川連村 黑内朱駒形吸碗、皆朱柿形吸碗、黑内朱汁椀 高橋新市 雄勝郡川連村 黑内朱駒形吸碗、皆木柿形吸碗、黑内朱汁椀 高橋新一 雄勝郡川連村 黑内朱平加々丸吸碗。 馬内朱叶柳 廣島嘉吉 雄勝郡川連村 馬内朱平加々丸吸碗蒔絵付 張片衛蒔絵付、黒台付葉子花公付、洗朱名刺盆蒜絵付、黒台付葉子花公付、洗朱名刺盆蒜絵付、黒台付葉子花公付、洗朱名刺盆蒜絵付、黒白作葉子花公付、洗朱名刺盆蒜绘付、黒白作葉子花之竹、赤木名刺盆蒜絵付、黒白作葉子花之竹、紫色彩之香、紫色彩之香、紫色彩之香、紫色彩之香、紫色彩之香、紫色彩色等。 全席著白木 有形、著白木以外、著名形、卷角形、卷角形、卷角形、卷角形、卷角形、卷角形、卷角形、卷角形、卷角形、卷角		本間寛助	雄勝郡川連村大館八八	椀、内朱外溜花鳥沈金吸椀、櫻皮透溜塗菓子器、黒呂   額面日ノ出鶴蒔絵付、洗朱錆地花鶯蒔絵付吸椀、黒内	
高橋豊藤 雄勝郡川連村大館九二 岩色名刺盆蒔絵付、所出シ花台、外呂色內裏梨地手箱 絵付、人關ノ外呂色內裏梨地香箱蒔絵付、 馬橋亀治 雄勝郡川連村川連六二 惣黒利丸吸碗蒔絵付、皆朱蓋付計碗、皆朱柿形吸碗絵 付、黒内朱肩褲吸碗沈金付 大、大子養汁碗、整黒內洗朱五 食食台供無地、先朱尺二寸赴食体高龄付、患外表布 超級用油 大小 大工 大大工 大大工 大大工 大大工 大大工 大大工 大大工 大大工 大		古関新左衛門	雄勝郡川連村大館	洗朱柿形吸椀、洗朱茶盆足付、洗朱茶盆	
		上坂利吉	雄勝郡川連村大館	洗朱重箱五段、洗朱柿形吸椀、布張抜黒加賀大吸椀	
高橋亀治 雄勝郡川連村 黒菓子椀、七号皆赤木盆		高橋豊蔵	雄勝郡川連村大館九二	呂色名刺盆蒔絵付、研出シ花台、外呂色内裏梨地手箱 絵付、入隅ノ外呂色内裏梨地香箱蒔絵付、	
一		高橋亀治	雄勝郡川連村		
#勝郡川連村川連五二		高橋熊吉	雄勝郡川連村川連六二		
高橋茨助 雄勝郡川連村一連九二 外黑呂色內梨地盆、透絵付硯箱 馬橋新平 雄勝郡川連村 黒內朱駒形吸椀、皆朱柿形吸椀、黒內朱汁椀 馬橋新市 雄勝郡川連村 黒內朱平加々丸吸椀。		高橋倉之助	雄勝郡川連村川連五二	皆朱尺三寸丸挽鉢蒔絵付、洗手蓋汁椀、惣黒內洗朱五 段重台付無地、洗朱尺二寸絵付会席吉野膳、洗朱吸椀	
高橋新平 雄勝郡川連村 黒内朱駒形吸椀、皆朱柿形吸椀、黒内朱汁椀 高橋新市 雄勝郡川連村 黒内朱平加々 丸吸椀、 黒内朱平加々 丸吸椀、 黒内朱汁椀 黒内朱平加々 丸吸椀 大 黒内朱胖椀揃、黒磨椀揃、 黒名刺盆 流朱七寸 五段重、黒内朱胖椀揃、黒磨椀揃、 黒名刺盆 流朱七寸 五段重、黒内朱胖椀揃、 黒路椀揃、 黒名刺盆 流栓付、 黒朱名刺盆蒔絵付、 黒大箱蒔絵付、 黒台付菓子器沈金付、 黒駒形吸椀蒔絵付 、 黒白付菓子器沈金付、 黒駒形吸椀蒔絵付、 黒白付菓子器沈金付、 黒駒形吸椀蒔絵付、 黒内朱椀 高橋紋太郎 由利郡本荘町田町 硯箱、 茶盆 由利郡本荘町田町 硯箱、 茶盆 会席謄丸形、 箸角形、 巻煙草入、 菓子重、 会席箸白木 角形、 箸白木丸形 紫金菓子箱台付、 紫色塗巻煙草入、 茶色塗菓子箱台付、 紫金菓子箱台付、 紫金菓子箱台付、 紫金菓子箱台付、 紫金菓子箱台付、 紫金菓子箱台付、 紫金菓子箱台付、 紫金菓子箱台付、 紫金工工工厂 大 大 全 全 大 大 全 全 全 大 大 全 全 全 大 大 全 大 大 全 大 大 全 大 大 五 大 大 全 全 全 全		高橋源治郎	雄勝郡川連村	黒内朱一尺五段重台付、洗朱一尺五段重	
高橋新市 雄勝郡川連村 黒内朱平加々丸吸椀、 黒内朱平加々丸吸椀、 高橋新三郎 雄勝郡川連村 黒内朱平加々丸吸椀蒔絵付 黒内朱平加々丸吸椀蒔絵付 黒内朱平加々丸吸椀蒔絵付 黒内朱平荫揃、黒膳椀揃、黒磨椀揃、黒格柳揃、黒色刺盆 沈金付、洗朱名刺盆蒔絵付、黒状箱蒔絵付、黒白竹菓子器沈金付、黒駒形吸椀蒔絵付、黒内朱椀 高橋紋太郎 由利郡本荘町田町 硯箱、茶盆 由利郡本荘町田町 硯箱、茶盆 会席贈丸形、箸角形、巻煙草入、菓子重、会席箸白木角形、箸白木丸形 紫塗菓子箱台付、紫色塗券煙草入、茶色塗菓子箱台付、紫色塗券上草石 (根本整理中)、茶色、水色、水石、水石、水石、水石、水石、水石、水石、水石、水石、水石、水石、水石、水石、		高橋炗助	雄勝郡川連村川連九二	外黒呂色内梨地盆、透絵付硯箱	
高橋新三郎 雄勝郡川連村 黒内朱平加々丸吸椀蒔絵付 洗朱七寸五段重、黒内朱膳椀揃、黒膳椀揃、黒名刺盆 沈金付、洗朱名刺盆蒔絵付、黒北箱蒔絵付、黒台付菓子器沈金付、黒駒形吸椀蒔絵付 黒白付菓子器沈金付、黒駒形吸椀蒔絵付 黒白竹菓 衛藤原酉松 雄勝郡川連村大館二 内黒外洗朱独楽形吸椀蒔絵付、黒内朱椀 高橋紋太郎 由利郡本荘町田町 硯箱、茶盆 会席膳丸形、箸角形、巻煙草入、菓子重、会席箸白木 月形、箸白木丸形 紫白木丸形 紫白木丸形 紫色葉子箱台付、紫色塗券煙草入、茶色塗菓子箱台 (		高橋新平	雄勝郡川連村	黒内朱駒形吸椀、皆朱柿形吸椀、黒内朱汁椀	
廣島嘉吉     雄勝郡川連村大館五二     洗朱七寸五段重、黒内朱膳椀揃、黒膳椀揃、黒名刺盆、沈金付、洗朱名刺盆蒔絵付、黒状箱蒔絵付、黒台付菓子器沈金付、黒駒形吸椀蒔絵付、黒内朱椀 子器沈金付、黒駒形吸椀蒔絵付、黒内朱椀 向黒外洗朱独楽形吸椀蒔絵付、黒内朱椀 向黒外洗朱独 全席整九形、第角形、巻煙草入、菓子重、会席箸白木一工工人       伊波松四郎     仙北郡生保内村生保内 二七人     会席膳丸形、箸角形、巻煙草入、菓子重、会席箸白木角形、箸白木丸形       倉田初蔵     仙北郡横澤村中里二大 一線茶塗菓子箱台付、紫色塗業煙草入、茶色塗菓子箱台付、鰕茶塗菓子箱台付、紫色塗業子箱台付、紫水塗菓子箱台付、紫水塗菓子箱台付、紫水塗菓子箱台付、紫水塗工業工工大大名黒堆黒、巻煙草入台付堆刻黒、状箱外革内黒、状箱外外黒       柳本古土郎     仙北郡生保内村生保内     会庭職 超築 本分和形、即職		高橋新市	雄勝郡川連村	黒内朱平加々丸吸椀、	
渡島嘉吉   雄勝郡川連村大館五二   沈金付、洗朱名刺盆蒔絵付、黒状箱蒔絵付、黒台付菓子器沈金付、黒駒形吸椀蒔絵付   大朱名刺名蒔絵付、黒駒形吸椀蒔絵付   大朱名刺名   大紫花、土田   大紫花   大紫花		高橋新三郎	雄勝郡川連村		
高橋紋太郎 由利郡本荘町田町 硯箱、茶盆  丹波松四郎 仙北郡生保内村生保内 二七八 会席謄丸形、箸角形、巻煙草入、菓子重、会席箸白木 角形、箸白木丸形  紫塗菓子箱台付、紫色塗養煙草入、茶色塗菓子箱台 付、鰕茶塗菓子箱台付、紫巻塗菓子箱台付、紫巻塗菓子箱台付、紫木色塗菓子箱台付、紫木金塗菓子箱台付、紫木金、木木の黒、状箱内外黒  柳木市大郎 仙北郡生保内村生保内  企産職 稲笠 本分角形 即の民職 本分丸形 吸購		廣島嘉吉	雄勝郡川連村大館五二	沈金付、洗朱名刺盆蒔絵付、黒状箱蒔絵付、黒台付菓	
丹波松四郎		藤原酉松	雄勝郡川連村大館二	内黒外洗朱独楽形吸椀蒔絵付、黒内朱椀	
二七八 角形、第白木丸形 紫蓝菜子箱台付、紫色塗養煙草入、茶色塗菓子箱台付、紫色塗養子箱台付、紫色塗養子箱台付、紫茶塗菓并箱台村、紫茶塗工箱五重一枚蓋台村、茶盆黑堆黑、卷煙草入台付堆刻黑、状箱外本内黑、状箱外本内黑、状箱外本内黑、状箱外本内黑、状箱外水黑 他北郡生保內村生保內		高橋紋太郎			
森盆味理点、参煙早人百行唯刻無、状箱外車内無、状 箱内外黒 伽木市士郎 仙北郡生保内村生保内 金度瞳 超笠 本分角形 川口足藤 本分虫形 吸藤		丹波松四郎		角形、箸白木丸形	
		倉田初蔵	仙北郡横澤村中里二六	条盆黒堆黒、巻煙早入台付堆刻黒、状箱外単内黒、状	
		柳本市太郎		会席膳、硯箱、茶盆角形、四つ足膳、茶盆丸形、吸膳	

# (別表2) 御所野家の帳簿から

【表紙】 下小阿仁村鎌沢八十九番地下小阿仁村鎌沢 御処野氏 [ ]=破損 ■=判読不能

地蔵袋

【見返し】 昭和弐年十一月四日 鎌沢御処野亮三

目付		(円)	品物	数量		名	日付		(F
同	入	2.5	シツリバコ	1	ケ	鎌沢 加藤[]			
[ ]	入	2.5	筒	1	本	タカノス町 長谷[]		入	3. 5
8日	入	3. 4	並	3	組	李岱 庄司店[]	12月	入	2. 5
17日	入	1	中	1	本	李岱 局[]	95本 内タテ9本		
11	入	1.5	並	[ ]		[ ] 宇七	727枚		
19日	入	2	シツリバコ	1	ケ	(加)藤理吉	昭和14年度		
		0.8	ドーラン中	1		李岱 成正	1月18日	入	1. 3
	入	3.5	上等	1	組	李岱 角五郎 馬車屋	1月22日	入	1. 4
9日	入	1.3	並	1	組	上杉 米[] 片一郎	2月6日		3. 2
2月2日	入	3	上硯			樺太豊原高等女学校 第三寄宿舎■田芳松			3. 5
	入	0.5	筒寸コシライ			由利郡本荘石脇上町			6
8月	入	1.3	並	2	組	木 本城 金 ゴンタ郎	1月22日	入	6
	入	2	マキタバコ入			茶屋	1月22日	入	5. 1
	入	1	葉タバコ入			杉山田 ■■			6
	入	1.5	並	1	組	上小阿仁村 小沢田			1. 2
10月3日	入	2	並	2	組	阿仁合町	2月6日送り		3. 2
11	入	7	並		710.2	"	2月17日	入	3. 6
"	入	2	上	1	組	米内沢町	JJ	入	2. 2
"	入	3	中	2	組	木村五十 [(二)]		入	2. 5
11月[]		4	ヒキフタ	4	ケ	阿仁合町	3月15日	入	2. 4
11/1[ ]		4	並	10	ケ	PILL D.	0711014	入	1. 2
		0.7	玉	14	ケ		3月20日		1. 2
	入	1	ヒキフタ	1.4	<del>-                                    </del>	ユービン	0/170 H	入	1. 2
<b>—</b>	入入	1	ヒキフタ			11	3月22日	入入	2. 4
<u> </u>	入	1. 3	ヒキフタ		$\vdash$	芹沢酒屋	0/177 H	7	2. 4
	入入	1. 3	C7 / /		<u> </u>	三里 福岡小吉[]		入入	0.5
10月		1.5	シキ■入		-	松岡四郎[]	-		1.5
10万	入	1.5	あかツ[]		<del>                                     </del>	鈴木儀三郎		入	1. 5
11月26日	_	9	上	2	<b>√</b> □			入	3. 6
11月26日	入			3	組	三里 松橋利八	4 1 10 1	_	_
	入	0.6	筒ツクバイ		-	加藤定之助 伊東土方	4月12日	入	6
	入	4.5	上等		-	雪田 杉渕文郎		-	2
	入	2	中		-	三木田 三浦政吉	4 11 00 11	入	1
	入	1	1. 1a. te		-	加藤ヒコ蔵	4月22日	入	1
		1	ヒキフタ		├	ユービン	"	入	2. 4
		9				木村	"	入	0.8
manage in the case	7 7 1-	5. 5				市口	<i>II</i>	入	0.5
昭和13年1月						The Late	4月24日	入	1. 7
2月■日	_	3. 5	シツリバコ		<u> </u>	雪田 山岡太郎	4月22日	入	1.5
27日	入	2	ヒキフタ		- 1	芹沢酒屋		入	1.5
27日		1	茶筒	1	本	"	5月2日	入	4. 1
	入	3	上	1	組	鈴木与一	2日	入	2.6
	入	1	三里	1	ケ	福岡永吉		入	3
	入	1	仙北郡送り 七六	1	ケ	福田織之助		入	3
26日	入	5	並	5	組	米内沢市		入	2
11	入	1.2	並	3	ケ	木村五十二		<u> </u>	4
	入	1	茶筒	1	本	半斤入 木戸石茶屋		入	5
28日	入	2	1					-	4.5
27日						李岱 庄司店へ		入	_
	入	2				米内沢市 秀治へ		入	1.5
30日	入	1.5	シキ■入			米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治		入 入	1.5
30日	入入	1.5 0.5	ナオシ			米内沢市 秀治へ       杉山田 伊藤常治       タカノス町 高井		入	1.5 4 1.2
30日	入入	1.5				米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治		入 入	1.5
30日	入 入 入	1.5 0.5	ナオシ			米内沢市 秀治へ       杉山田 伊藤常治       タカノス町 高井		入 入	1. 5 4 1. 2 14 5
30日 // 3月2日	入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2	ナオシ 上上			************************************		入 入	1.5 4 1.2 14
30日 " 3月2日 "	入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2 6	ナオシ 上上 上			************************************		入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5
30日 " 3月2日 "	入 入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2 6 4. 8	ナオシ 上上 上 中			************************************		入 入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5
30日 " 3月2日 "	入 入 入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2 6 4. 8 1. 8	ナオシ 上上 上 中 並			米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店		入 入 入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5 5 0. 8
30日 n 3月2日 n n	入 入 入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2 6 4. 8 1. 8 5. 4	ナオシ 上上 上 中 並 上上			米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店		入 入 入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5 5 0. 8 1. 5
30日 " 3月2日 "	入 入 入 入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2 6 4. 8 1. 8 5. 4 4. 86	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上			************************************		入 入 入 入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5 5 0. 8 1. 5 4. 5
30日 " 3月2日 "	入 入 入 入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2 6 4. 8 1. 8 5. 4 4. 86 5. 1	ナオシ 上上 中 並 上上 上			************************************		入 入 入 入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5 5 0. 8 1. 5 4. 5
30日 " 3月2日 "	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8	ナオシ 上上 中 並 上上 上 中			************************************		入 入 入 入 入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5 5 0. 8 1. 5 4. 5 3 3. 6
30日 // 3月2日 // // // // 3月16日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2 6 4. 8 1. 8 5. 4 4. 86 5. 1 1. 8 1. 8 2. 5	ナオシ 上上 中 並 上上 上 中			米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 夕カノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 六〇		入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5 5 0. 8 1. 5 4. 5 3 3. 6 5
30日 // 3月2日 // // // // 3月16日 3月22日 3月23日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2 6 4. 8 1. 8 5. 4 4. 86 5. 1 1. 8 1. 8 2. 5	ナオシ 上上 中 並 上上 上 中 並 シ 上上 上 中			************************************		入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1. 5 0. 5 7. 2 6 4. 8 1. 8 5. 4 4. 86 5. 1 1. 8 2. 5 2 1. 5	ナオシ 上上 中 並 上上 上 中 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3	*日	************************************		入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5 5 0. 8 1. 5 4. 5 3 3. 6 5 4. 3
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日 4月2日	\(\lambda\) \(\lam	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 1.8 2.5 2 1.5 5	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上 中 並 シキ■入中物	3 2	組欠	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店  三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 六〇 マトー沢大工 仏社 政吉兄へ 三木田 カヤイ ハカゼ 岩山万蔵		入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5 3.5 4
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日	\(\lambda\) \(\lam	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 2.5 2.5 2 1.5 6	ナオシ 上上 中 並 上上上 上 中 並 シキ■入中物 古筒-本並六八-ケ上 上	2	ケ	************************************		入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1. 5 4 1. 2 14 5 6 0. 8 1. 5 4. 5 3. 6 5 3. 5 4 3. 3
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日 4月2日	\(\lambda\) \(\lam	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 1.8 2.5 2 1.5 6 6 1.5	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上 中 並 シキ■入中物 古篇-本並六八-ケ上 上	2	ケ 本	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 六〇 マトー沢大工 仏社 政吉兄へ 三木田 カヤイ ハカゼ 岩山万蔵 学校 藤島様[]北山様 伊藤重吉		入入入 入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3.6 5 3.5 4 3.3 3.3 3.3
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日 4月2日	\(\lambda\) \(\lam	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 1.8 2.5 2 1.5 6 6 1.5 0.9	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上 中 並 シキ■入中物 古高-本並六ハ-ケ上 上 シツリ箱 筒 中	2 1 1	ケ 本 ケ	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 六〇 マトー沢大工 仏社 政吉兄へ 三木田 カヤイ ハカゼ 岩山万蔵 学校 藤島様[]北山様 伊藤重吉 加藤長之		入入入         入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5 3.5 4 3 3.3 4
30 E	\(\lambda\) \(\lam	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 2.5 2 1.5 5 6 6 1.5 9 1.5	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上 中 並 シキ■入中物 古篇-本並六八-ケ上 上	2	ケ 本	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 六〇 マトー沢大工 仏社 政吉兄へ 三木田 カヤイ ハカゼ 岩山万藤 学校 藤島様[]北山様 伊藤重吉 加藤長之 岩山万蔵	10 П	入入入 入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5 5 3.5 4.2 4 3 3 3.2 4
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日 4月2日	\(\lambda\) \(\lam	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 2.5 2 1.5 5 6 1.5 0.9 1.5 3	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上 中 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2 1 1 1	ケ 本 ケ ケ	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 六〇 マトー沢大工 仏社 政吉兄へ 三木田 カヤイ ハカゼ 岩山万蔵 学校 藤島様[]北山様 伊藤 重吉 加藤長之 岩山万蔵 三木田 三浦勇治	12月	人人人         人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5 3.5 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日 4月2日	\(\lambda\) \(\lam	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 2.5 2 1.5 5 6 1.5 0.9 1.5 3 5.3	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上 中 並 シキ■入中物 古高-本並六ハ-ケ上 上 シツリ箱 筒 中	2 1 1	ケ 本 ケ	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 六〇 マトー沢大工 仏社 政吉兄へ 三木田 カヤイ ハカゼ 岩山万蔵 学校 藤島様[]北山様 伊藤重吉 加藤長之 岩山万蔵 三木田 三浦勇治 五城目 佐々木治助		入入入         入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入入	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5 5 3.5 4.2 4 3 3 3.2 4
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日 4月2日	\(\lambda\) \(\lam	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 2.5 2 1.5 5 6 1.5 0.9 1.5 3 3 5.3 60銭50銭	ナオシ 上上 上 中 並 上上上 上 中 並 シキ■入中物 古筒-本並六八-ケ上 上 シツリ箱 筒 中 高さ三寸五合 七寸	2 1 1 1 5	ケ 本 ケ ケ 組	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、、〇二 三 一、〇二 三 一、〇二 三 六〇 マトー沢大工 仏社 政 カヤイ ハカゼ 岩山万蔵 学校 藤島様[]北山様 伊藤重吉 加藤長之 岩山万蔵 三木田 三浦勇治 五城目 佐々木治助 章 監殿郎・リンヤ 古物寸コシラク	170.50円7月分1ヶ月24.4円	人人人         人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5 3.5 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
30 E	入入入入入入入入入入入入入入入入入入入	1.5 0.5 7.2 6 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 1.8 2.5 2 1.5 6 6 1.5 0.9 1.5 3 3 6 6 8 3 1.5 4 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上 中 並 シキ■入中物 古筒-本並六八-ケ上 上 シツリ箱 筒 中 高さ三寸五合 七寸	2 1 1 1 5	ケ 本 ケ ケ 組	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 一、六〇 三 一、六〇 三 一、六〇 三 一、六〇 三 十八〇 三 十八〇 マト一沢大工 仏社 政吉兄へ 三木田 カヤイ ハカゼ 岩山万蔵 学校 藤島様[]北山様 伊藤重吉 加藤長之 岩山万蔵 五城目 佐々木治助 全路 松岡郎・リンヤ 古物寸コシラク 高橋校長	100.50円7月分1ヶ月24.4円 200円 電気	人人人         人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5 3.5 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日 4月2日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1.5 0.5 7.2 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 1.8 2.5 2 1.5 5 6 6 1.5 0.9 1.5 3 3 5.3 6 6 6 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上 中 並 シキ■入中物 古筒-本並六八-ケ上 上 シツリ箱 筒 中 高さ三寸五合 七寸 並	2 1 1 1 5	ケ 本 ケ ケ 組 本 組	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 六〇 マトー沢大工 仏社 政吉兄へ 三木田 カヤイ ハカゼ 岩山万蔵 学校 藤島様[]北山様 伊藤重吉 加藤長之 岩山万蔵 三木田 三浦勇治 三坂田 佐々木治助 幸む 監問郎・リンヤ 古物コンテク 高橋校長 仙北郡神代村大字夏瀬	m.5师用允·用24年 200円 電気 ×370.5円	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5 3.5 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
30日 n 3月2日 n n 3月16日 3月22日 3月22日 3月23日 4月5日 4月2日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1.5 0.5 7.2 6 6 4.8 1.8 5.4 4.86 5.1 1.8 1.8 2.5 2 1.5 6 6 1.5 0.9 1.5 3 3 6 6 8 3 1.5 4 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	ナオシ 上上 上 中 並 上上 上 中 並 シキ■入中物 古筒-本並六八-ケ上 上 シツリ箱 筒 中 高さ三寸五合 七寸	2 1 1 1 5	ケ 本 ケ ケ 組	米内沢市 秀治へ 杉山田 伊藤常治 タカノス町 高井 山形県鶴岡 青木きせる店 三 一、八〇 三 一、六二 五 一、〇二 三 一、六〇 三 一、六〇 三 一、六〇 三 一、六〇 三 十八〇 三 十八〇 マト一沢大工 仏社 政吉兄へ 三木田 カヤイ ハカゼ 岩山万蔵 学校 藤島様[]北山様 伊藤重吉 加藤長之 岩山万蔵 五城目 佐々木治助 全路 松岡郎・リンヤ 古物寸コシラク 高橋校長	m.5個7月分ヶ月24年 200円 電気 ×370.5円 昭和15年度	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	1.5 4 1.2 14 5 5 0.8 1.5 4.5 3 3.6 5 3.5 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3

日付		(円)	品物	数量		名
						十一堂 米内沢
	入	3. 5				三木田 カヤデ
12月	入	2. 5				雪田 山岡多一郎
95本 内タテ9本						
727枚						
昭和14年度						
1月18日	入	1. 3	コシザゲバット入ナオル			
1月22日	入	1. 4	茶筒	2	本	岸田
2月6日		3. 2	並	2	組	福島県平市鎌田町44 上杉吉太郎
		3. 5	E	1	組	福田与八郎
4 H 00 H	7	6	タバコ入 ぬキサン	2	組	V( -L- V= 1 - Mc
1月22日	入	6				米内沢 十一堂
1月22日	入	5. 1	タバコ入形 ヌキサン	2	組	米内沢 木利店 李岱(庄司様)岸田
		1. 2	並	1	組	米内沢 十一堂
2月6日送り		3. 2	AE.	1	WIT	福島県平市鎌田町44 上杉吉太郎
2月17日	入	3. 6	並	3	組	米内沢町
11	入	2. 2	Ŀ	1	組	木利様
	入	2. 5	マキタバコ入			加藤運七
3月15日	入	2. 4	並	2	組	木村五十二
	入	1. 2	バット入			杉瀬民吉
3月20日		1	タバコ入形	2	ケ	庄司様 李岱
	入	1. 2	中	1	ケ	木村喜之助
3月22日	入	2. 4	上	2	ケ	木村五十二
	入	2.5	中	1	組	成田易松
	入	0.5	ツクルへ			JJ
		1.5				鈴木礼吉大石
	入	1.5	中ノ上	1	組	静岡庵原郡松野村西松組木工部高橋様方大石蔵雄
	入	3. 6				米内沢 木利店
4月12日	入	6	*			米内沢 十一堂
	_	2	直 ヒキフタ タバコ入			高橋様へ 土城松橋先生へ
4 🗆 00 🗆	入	1				三木田 相馬易透
4月22日	入入	1				米内沢町 近藤勇吉
"	入入	2. 4 0. 8				米内沢町 木村五十二 土城行 加藤勇吉
"	入入	0. 5				土城 松橋先生
4月24日	入	1. 7	並	1	組	山岡三蔵
4月22日	入	1. 5	ヒキフタ	1	WIT.	加藤久米治
1/1 22 H	入	1.5	- (//			杉山田 杉瀬民吉
5月2日	入	4. 1				米内沢町 十一堂
2日	入	2.6				木村五十二
	入	3	タバコ入形 ヌキサン			ノ木 楽屋
	入	3				福田乙吉
	入	2	ヒキフタ			杉山田 伊藤常治
		4				仁田ノ目 多一郎
	入	5	シツリバコ			かネき
	入	4.5	ヒキフタ			かネき
	入	1.5				米内沢 松橋重吉
	入	4				マトノ沢 大工
	入	1.2		1	ケ	加藤宇吉
		14		4	組	F-0.15 (40.020k) 40.1-13.64
	7	5				長信田 武石音五郎
	入	5				川井行ニテ 加藤定之助
	入	0.8				羽立 菅原伸一郎
	入入	1.5				三木田 三浦長次郎
	_	4. 5	rts	0	J	鎌沢 加藤貞一郎
	入入	3.6	中中	3	ケ本	阿仁合町 米沢春吉
	入入	5	シツリバゴ	1	ケ	上大野村上杉学校本間先生
	入入	3, 5	メキサン タバコ入	1	1	タカノス町 楽屋カメ売
	入入	3. 5	シイリン ラハコハ	2	組	三里 石上永助
	入	3	at.	-	WILL	加藤運七
	入	3				沖田面
	入	3				小沢田
	入	3. 2				南沢工場内
	入	4	並	2	組	山形県鶴岡市ニテ
	入	2. 5	中	1	組	阿仁合町 米沢春吉
12月		3	Ŀ	1	組	鈴木儀三郎
	入	1.5	ヒキフタ	1	ケ	李岱 平川
170.50円7月分1ヶ月24.4円						
200円 電気						
≠370.5円						
昭和15年度	_					
1月2日	入	2				米内沢電話工へ

		(円)	品物	数量		名
	入	3. 5				鈴木儀三郎
	入	3				鈴木利市兄へ
	入	2				雪田工場へ
12日	入	6				米内沢町十一堂へ
JJ	入	2. 5				米内沢町 木村五十二
12日	入	3	シデッキ	1	本	福田富松
	入	2. 5	ヒキダシ2ケ付	1	ケ	加藤貞一郎
	入	2. 5	アカツキ入	1	ケ	加藤貞一郎
	入	1.5	中	1	ケ	鈴木清治ムコ
1月25日	入	2. 5	中	1	組	加藤貞一郎 十二所町小学校内桜井与市
2月	入	2. 5				十二所町 桜井与市
	入	8	並	4	組	木村五十二
	入	6	上	2	組	JJ
	入	5				大内沢 成田鶴治
		5				福田芳蔵
2月27日	入	3. 5	マキタバコ入			加藤力弥
出ス	入	3	中	1	組	松橋浅吉
2月5日	入	5. 5				三里 松橋ヤマシ
2月6日	入	5	上等	1	組	鎌沢 本間四郎兵衛
	入	3				十二所町 桜井与市
3月22日	入	2. 5				IJ
	入	3. 5				三里 松八吉弥
	入	4	筒	1	本	コジキ 馬祭り
		2. 7	中			福島県平市鎌田町44
		2. 2	並			上杉吉太郎
		2	上筒	1	本	II .
4月11日		4	オホン	2	枚	杉瀬好男
4月12日		5	トーラン	1	組	学校より高橋校長へ
	入	20	ドーラン巻煙草入	1	組	鈴木利三郎
	入	10	ドーラン	1	組	小沢田
	入	3	ドーラン	1	ケ	長之
	入	11	ドーラン	1	組	加藤
	入	12	ドーラン	1	組	三木田
	入	15	巻煙草入			長治
	入	10	巻煙草入			何田
	入	8	ハット煙草入			何田
		10	ドーラン			李岱
		15	煙草入形			李岱
		12	ドーラン	1	組	上大野駅長
		10	ドーラン	1	組	牧浦
		7.5	筒	1	本	三里 喜三郎
昭和21年度	残り占	品				
	入	350				山岡春治
	入	350				鈴木政之助
	入	220				大内沢馬八
	×	920				
		930	計1850円			
		150	筒大	1	本	米倉 宇一郎
		250		1	組	〃 土城行
		130	上等筒	1	木	加藤貞一郎
昭和22年度	[1月日	リ仕上リ			144	
					7	
1月3日	-	250		1	組	杉山田 伊藤桂助
1月3日	入	400				杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎
1月15日	入入	400 600		1 1 2	組	杉山田 伊藤桂助       二ツ井 成田由五郎       三里 松橋長太郎
1月15日 1月13日	入 入 入	400 600 500		1 1 2 2	組組組組組組	杉山田     伊藤桂助       二ツ井     成田由五郎       三里     松橋長太郎       杉山田三木田     受取     使三郎
1月15日 1月13日 19日	入 入 入 入	400 600 500 250		1 1 2 2	組組組組組組組組組組	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内ダンナ 使政之助
1月15日 1月13日	入 入 入 入	400 600 500 250 400		1 1 2 2 1	組組組組組組組組組組組組組組組組組組組	杉山田 伊藤桂助 ニツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治
1月15日 1月13日 19日 1月15日	入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120	ヤメ	1 1 2 2 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田士場內ダンナ 使政立助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日	入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70		1 1 2 2 1	組組組組組組組組組組組組組組組組組組組	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田七場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三里 松橋吉之助
1月15日 1月13日 19日 1月15日	入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120	ドーラン	1 1 2 2 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三里 松橋吉之助 李岱 亀
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日	入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400		1 1 2 2 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組	杉山田 伊藤桂助 ニツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三木田土場 季路 亀 李岱 成田専太郎
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日	入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400 150	ドーラン	1 1 2 2 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組	杉山田 伊藤桂助  二ツ井 成田由五郎  三里 松橋長太郎  杉山田二木田 受取 使三郎  雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三王里 松橋吉之助 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日	入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400 150 350	ドーラン	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三里 松橋吉之助 李岱 亀 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日	入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400 150 350 500	ドーラン	1 1 2 2 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組 組	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田士場内グンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三里 松橋吉之助 李岱 亀 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三木田 三浦三太郎
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日	入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400 150 350 500 200	ドーラン	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三末田 受取 使三郎 雪田士場内ダンナ 使政立助 阿仁合行 加藤千代治 三末田土場 三里 松橋吉之助 李岱 亀 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三末田 三浦三太郎 鎌沢 加藤
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日	入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400 150 350 500 200 200	ドーラン	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場內グンナ 使政即 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三里 松橋吉之助 李岱 龟 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三木田 三浦三太郎 鎌沢 加藤 花岡 イナリ沢 長木由雄
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400 150 350 500 200	ドーラン	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助 ニツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田二木田 受取 使三郎 雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三木田土場 李佐 亀 李岱 成田 専太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三木田 三浦三太郎 鎌沢 加藤 花岡 イナリ沢 長木由雄
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日	入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400 150 350 500 200 200	ドーラン	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤佳助  二ツ井 成田由五郎  三里 松橋長太郎  杉山田二木田 受取 使三郎  雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三末田土場 三里 松橋吉之助 李岱 亀 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三末田 三浦三太郎 鎌沢 加藤  正本田 三浦三太郎 新田目 太一郎
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400 150 350 500 200 200 250	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内グンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 全 松橋吉之助 李岱 亀 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三木田 三浦三太郎 鎌沢 加藤 て十リ沢 長木由雄 三木田 三浦三太郎 新田目 太一郎 李岱局長
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 1120 70 400 1150 350 500 200 200 250 330	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助 ニツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内グンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田 土場 を橋吉之助 李岱 亀 李岱 竜 森田専太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三木田 三浦三太郎 鎌沢 加藤 花岡 イナリ沢 長木由雄 三末田 三浦一郎 李岱局長 三里 福岡喜三郎
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日 27日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 1120 70 400 150 350 500 200 250 330 400	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内グンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 全 松橋吉之助 李岱 亀 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三木田 三浦三太郎 鎌沢 加藤 て十リ沢 長木由雄 三木田 三浦三太郎 新田目 太一郎 李岱局長
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日 27日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 1120 70 400 150 350 500 200 250 330 400	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助  二ツ井 成田由五郎  三里 松橋長太郎  杉山田二木田 受取 使三郎  雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三木田土場 三本田土場 李岱 成田 専太郎  鈴木 政之勝 勝臓 三木田 三浦三太郎  鎌沢 加藤 花岡 イナリ沢 長木由雄 三木田 三末二 本郎  新田日 長 三 田田 長 三 鈴木政之助  杉山田
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日 27日 3月1日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 1120 70 400 150 350 500 200 200 250 400 200 200 200 200 200	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助 二ツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田士場内グンナ 使政立助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三里 松橋吉之助 李岱 亀 李岱 成田専太郎 鈴木 政 藤岡勝蔵 三木田 三浦三太郎 鎌沢 加藤 花岡 イナリ沢 長木由雄 三木田 三浦三太郎 新田目 太一郎 李岱局長 三里 福岡喜三郎 鈴木政之助
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日 27日 3月1日 3月1日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 1120 70 400 150 350 500 200 200 250 330 400 200 200 200 200 200 200	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 1 1 1 1	組 組 組 組 組 組 組 組 力	杉山田 伊藤桂助  二ツ井 成田由五郎  三里 松橋長太郎  杉山田二木田 受取 使三郎  雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三木田土場 三本田土場 李岱 成田 専太郎  鈴木 政之勝 勝臓 三木田 三浦三太郎  鎌沢 加藤 花岡 イナリ沢 長木由雄 三木田 三末二 本郎  新田日 長 三 田田 長 三 鈴木政之助  杉山田
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日 27日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 3月3日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 1120 70 400 150 350 500 200 200 250 330 400 200 200 200 200 300 300 300	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 2 1 1 1 1 1	組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組	杉山田 伊藤桂助 ニツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田二木田 受取 使三郎 雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三土 松橋吉之助 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助 ・ 藤田三末郎 ・ 藤沢 加藤 ・ 本田 三浦三太郎 ・ 藤沢 加藤 ・ 本田 三浦三太郎 ・ 新田目 太一郎 ・ 李岱局長 ・ 三里 福岡喜三郎 ・ 参木政之助 ・ 杉山田 ■■■■ ・ 雪田沢行 タンナ
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日 27日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 3月3日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 1120 70 400 150 350 500 200 200 250 330 400 200 200 200 200 300 300 300	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 2 1 1 1 1 1	組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組	杉山田 伊藤佳助  ニツ井 成田由五郎  三里 松橋長太郎  杉山田二木田 受取 使三郎  雪田土場内グンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三土 松橋吉之助 李岱 亀 李岱 成田専太郎 鈴木 政之助  沢羽立 藤岡勝蔵 三木田 三東 高田 東太郎 鎌沢 加藤  花岡 イナリ沢 長木由雄 三十 三浦三太郎  新田目 太一郎 李岱局長 三里 福岡喜三郎  鈴木改之助  *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 1月21日 2月26日 27日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 4月1日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 120 70 400 150 350 500 200 200 200 200 200 250 330 400 200 150 300 400	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 2 1 1 1 1 1	組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組	杉山田 伊藤桂助 ニツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内グンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三土 松橋吉之助 李岱 亀 東太郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三木田 三東 岡勝蔵 三木田 三浦三太郎 鎌沢 加藤 でに関 イナリ沢 長木由雄 三中 福岡喜三郎 鈴木政之助 「雪田山岡勇吉 三月末日まで 鎌沢 鈴木市蔵
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日 27日 3月1日 3月1日 3月1日 3月3日 4月1日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 250 400 1120 70 400 150 350 200 200 250 330 400 200 250 300 400 200 200	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 2	組組組組組組化	杉山田 伊藤桂助 ニツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田三木田 受取 使三郎 雪田土場内グンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三 生 松橋吉之助 李岱 亀 再末大郎 鈴木 政之助 沢羽立 藤岡勝蔵 三木田 川藤 イナリ沢 長木由雄 三里 松橋 高三郎 鈴木田 三木田 三浦三太郎 新田目 長 岡喜三郎 鈴木田 西 東 西 田 田 町 田 田 町 田 田 町 田 田 田 町 田 田 田 田 田 田
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日 27日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 4月1日 4月6日 3月7日	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 250 400 1120 70 400 150 350 200 200 250 330 400 200 250 300 400 200 200	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2	組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組	杉山田 伊藤桂助 ニツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎 杉山田二木田 受取 使三郎 雪田土場内ダンナ 使政之助 阿仁合行 加藤千代治 三木田土場 三本田土場 三本田土場 三本田土場 三本田 東太郎 鈴木 政之勝岡所蔵 三株田 三東 三邦三太郎 総統沢 加藤 正本田 三様沢 加藤 花岡 一大リ沢 長木由雄 三木田 目長 長田 国長 に出 日長 に関いる 「大田田」 大田田 「大田田」 大田田田」 大田田田 「大田田」 大田田田」 大田田田 「大田田」 「大田田」」 「大田田」 「大田」 「大
1月15日 1月13日 19日 1月15日 31日 2月18日 1月21日 2月26日 27日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1日 3月1	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入 入	400 600 500 250 400 1120 70 400 150 200 200 200 200 2150 330 400 200 200 200 200 200 200 200 200 20	ドーラン タバコ入形	1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2	組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組組	杉山田 伊藤桂助  ニツ井 成田由五郎 三里 松橋長太郎  杉山田二木田 受取 使三郎 雪田土場内ダンナ 使政立助 阿仁合行 加藤千代治 三末田土場 三本田土場 三本田土場 三本田土場 三本田 中本 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

雪田 山岡多郎   雪田 山岡多郎   雪田 山岡多郎   3月7日   入 30   天神 土壌   3月7日   入 30   三木田 三浦勘助   三木田 三浦   三十田 三月   三十田   三十田   三十田   三十田 三浦   三十田   三十田	日付	1	(円)	品物	数量		名
3月1日 入 30	HIN		(日)	0040	数里		
3月末日   入   20	9月7日	7	20				
3月末日   人   850		1					***
三木田		_					<del>                                     </del>
A   330   上   1   銀   三木田   三浦広之助5   4月10日   入   1200   日本日   1   銀   三木田   三浦底台   4月10日   入   1500   日本日   1   銀   三木田   三浦底台   4月1日   入   1500   日本日   日本日   日本日   日本日   日本日   日本日   4月3日   入   1500   日本日   日本日   日本日   日本日   日本日   4月3日   入   1500   日本日	3月末日	1/					
4月10日 入 220 中 1 組 三本田 三浦産治 4月15日 入 1200 4 組 照 下神 土場行 4月16日 入 150		7		I.	1	<b>∀</b> □	
4月5日   入   1200   4   組   天神   土場行   4月1日   入   150   7   7   7   7   7   7   7   7   7	4 1 10 1	+			_	_	
4月1日 入 150		_		中		_	
4月3日 入 150 タパコ入形 1 ケ 季信局 桜田 179 4月7日 入 100		-			4	和且	
150 タバコ入形 1 ケ 学信局 ナラ   14月7日 入 100		+					
4月7日 入 100	4月3日			h d - 1 TK		-	
4月25日 入 200   福田由蔵   1 和 二ツ井ノ人   1 和 二ツ井ノ人   1 和 三甲垂兵衛   1 和 三甲垂   1 和 三甲   1 和 三甲垂   1 和 三甲   1 和 三甲垂   1 和 三甲   1 和 三甲垂   1 和 三甲   1 和	4878	7		タハコ八形	1	7	
入 230 中 1 組 三ツ井ノ人		+					·
入 430 上等 1 組 岸田金兵衛   入 550   三浦■代行   2月末日 入 600   キンシ入   湊乙治   長石治   長石治   長石治   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	4月20日	+		rts	1	<b>∀</b> □	
日本田   大   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   10		1		-		_	
2月末日 入 500		1		上寺	1	和且	<del></del>
2月末日 入 100         キンシ入           湊之治         伊藤米松           5月8日 150         中 1 組 天神行 伊藤米松         米内沢行 福田季蔵         田代行鈴木         元 雪田 原太助         日代行鈴木         元 雪田 原太助         月月日         日月日         月月日         日月日         日	の日士口	+					二/用■1√1」
5月1日 入 250         中 1 組 天神行 伊藤米松           5月8日 150         田外介行 福田李蔵           4月26日 入 400         田代行鈴木           370 夕バコ入形 2 組 局 ナラ 広 5月5日 300         杉山田伊藤           6月5日 入 600         天神士場行 御処野太助           6月5日 入 600         天神士場行 御処野太助           6月31日 入 300         ど極長太郎           カ 300 ツクハイ 杉山田 伊藤常吉         大 500				de 1727			メキフ シム
5月8日   150		1				ψΠ	
### 4月26日 入 400				甲	1	和丑	<del>                                     </del>
4月26日   入 400	5月8日	+	150				
370   タバコ入形   2   組   局 ナラ 女人		-					
6月5日	4月26日			1: 0 7 77		6m	
6月5日 入 600 6月31日 入 300 日 7	0.0.5.0	1		ダバコ入形	2	組	
6月31日 入   300		-					
日ウイジ 7月21日より		+					<del>                                     </del>
田ウイシギ 打218より	6月31日	入					
入 30			400				松橋長太郎
入 300   杉山田 伊藤常吉   250   ス	出ウイシギ 7月	_					
大   10				ツクハイ			10 7 D 3-4
入   500		入					
入 400		_					·
入 350		+					
入   15		入	400				·
入   15		入	350				李岱 カズヤ
入 30		入	15				局長
入 30		入	15				JJ
入 70		入	30				三里
入 10		入	30				三木田
入 500		入	70				雪田 土場
500		入	10				伊藤
入 600		入	500				加藤■ズオ
入 700   2   組 天神 土場行   人 500   1   組			500		1	組	上杉
入 500		入	600		1	組	三里 松橋長太郎
入 350		入	700		2	組	天神 土場行
350		入	500		1	組	JJ
1100   2   組 雪田 土場   日本		入	350				加藤兵衛
A   350			350				御所野五郎
松田為治 何井行   8月17日   入 200   李岱 成田長四郎   本位 成田長四郎   九 500   御所野タクズ   入 550   三木田 三浦勘三郎   八 650   川 川			1100		2	組	雪田 土場
8月17日       入       200       李岱 成田長四郎         150       加藤         入       500       御所野夕夕ズ         入       550       三木田 三浦勘三郎         入       550       三木田 三浦勘三郎         入       500       上杉 引田力一郎         入       380       加藤総雄         700       長治         人       40       李岱 局長         ※       24055円         昭和23年1月ョリ       杉山田 伊東道雄         1月12日 入       500       キカバ       杉山田 伊東道雄         2月20日 入       1100       静が小様計2       第         30日 入       450       上五反沢         1月31日 入       500       本城 鈴木兵之助       李岱 成田米治         2月2日 入       450       本域 鈴木兵之助       李岱 成田米治         2月2日 入       750       上が以 と対以 と対以 と対以 度       キー郎       2月9日       入 500       鈴木勝司         3月15日 入       450       山岡勇助       伊藤米松         14日 入       20       沢 羽立       加藤キー郎         19日 入       350       加藤キー郎         19日 入       350       加藤生一郎         10       福岡佐五郎       長田十五衛門		入	350		1	組	伊藤米松
150							松田為治 何井行
150	8月17日	入	200				李岱 成田長四郎
入 550       三木田 三浦勘三郎         入 650       n         人 500       上杉 引田力一郎         小 700       大 380         700       長治         人 40       李岱 局長         ※       上板 引田力一郎         成 500       長治         24055円       上面長         服和23年1月ヨリ       大 1100         1月12日 入 500       キカバ         2月20日 入 1100       財が小臓状治療         30日 入 900       2         2月12日 入 450       上五反沢         1月31日 入 500       本域 鈴木兵之助         1月23日 入 450       上 1         2月2日 入 750       上 1       組 三里 松岡         2月9日 入 400       並 1       組 田中与七         入 500       並 1       銀 田中夢地         14日 入 30       伊藤米松         14日 入 20       沢 羽立         19日 入 350       加藤辛一郎         加			150				<b>†</b>
入 550       三木田 三浦勘三郎         入 650       n         入 500       上杉 引田力一郎         入 380       加藤徳雄         700       長治         入 40       李岱 局長         24055円       おりの         昭和23年1月ヨリ       大 1100         1月12日 入 500       キカバ         2月20日 入 1100       1100         1月31日 入 450       上五反沢         1月31日 入 500       本城 鈴木兵之助         1月23日 入 450       上五反沢         1月23日 入 750       上 1 組 三里 松岡         2月9日 入 750       上 1 組 三里 松岡         2月9日 入 400       並 1 組 田中与七         入 500       新木勝司         3月15日 入 450       山岡勇助         14日 入 30       伊藤米松         14日 入 30       ア 羽立         19日 入 350       加藤辛一郎         n 入 10       福岡佐五郎         根田 金田十右衛門		入	500				御所野タクズ
入 650		入	550				
入 500     上杉 引田力一郎       入 380     加藤徳雄       700     長治       700     兵治       天治     本位 局長       24055円     下の       昭和23年1月 3 リ     杉山田 伊東道雄       1月12日 入 500     キカバ     杉山田 伊東道雄       2月20日 入 1100     財が応継・計2億     芹沢       300日 入 900     2 組 雪田土場内       2月12日 入 450     上五反沢       1月31日 入 500     本城 鈴木兵之助       1月23日 入 450     本佐 成田米治       2月2日 入 750     上 1 組 三里 松岡       2月9日 入 400     並 1 組 田中与七       入 500     新木勝司       3月15日 入 450     山岡勇助       14日 入 30     伊藤米松       14日 入 20     沢 羽立       19日 入 350     加藤ギー郎       10日 福岡佐五郎     長田 金田十右衛門		+					<del>†</del>
入 380		_	-				
700   核助		+					
700   兵治   李岱 局長   平成24055円   旧月2日 入 500   キカバ   杉山田 伊東道雄   芹沢   30日 入 900   2 組 雪田土場内   上五反沢   月31日 入 450   上五反沢   本城 鈴木兵之助   上五反沢   月31日 入 450   上五反沢   本城 鈴木兵之助   上五反沢   大500   上 1 組 三里 松岡   芹沢   キー郎   上五尺沢   大500   上 1 組 三里 松岡   芹沢   キー郎   上五尺沢   大600   上五尺沢   大750   上 1 組 三里 松岡   大750   上 1 組 三里 松岡   上五尺沢   大600   上 1 組   田中与七   大750   上 1 組   田中与七   日本日本   田田島田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		T					
入     40     李岱 局長       24055円     昭和23年1月ヨリ       1月12日 入     500     キカバ     杉山田 伊東道雄 戸沢       30日 入     900     2     組 雪田土場内       2月12日 入     450     上五反沢       1月31日 入     500     本城 鈴木兵之助       1月23日 入     450     李岱 成田米治       2月2日 入     750     上     1       2月2日 入     750     上     1     組 三里 松岡       2月9日 入     400     並     1     組 田中与七       3月15日 入     450     山岡勇助       14日 入     30     伊藤米松       14日 入     30     伊藤米松       19日 入     350     加藤ギー郎       10  福岡佐五郎     長田 金田十右衛門		1					10000
グ     24055円       昭和23年1月ヨリ     1月12日 入 500       1月12日 入 500     キカバ       30日 入 900     2 組 雪田土場内       2月12日 入 450     上五反沢       1月31日 入 500     本城 鈴木兵之助       1月23日 入 450     上 区沢       1月23日 入 750     上 1 組 三里 松岡       2月2日 入 750     上 1 組 田中与七       2月9日 入 400     並 1 組 田中与七       3月15日 入 450     山岡勇助       14日 入 30     伊藤米松       14日 入 30     伊藤米松       14日 入 350     加藤キー郎       19日 入 350     加藤・中郎       10     福岡佐五郎       11     最田 金田十右衛門		7					<del></del>
24055円       昭和23年1月ヨリ       杉山田 伊東道雄       月12日 入 500     キカバ     杉山田 伊東道雄       月20日 入 1100     財が与様さ村庫     芹沢       30日 入 450     上五反沢       1月31日 入 500     本城 鈴木兵之助       す信 成田米治       入 750     上 1     組 三里 松岡       アルマラの 上が分入 と神が量     キー郎       月月5日 入 400     並 1     組 田中与七       会の 場所       月15日 入 450     山岡勇助       日4日 入 30     伊藤米松       14日 入 20     沢 対立       19日 入 350     加藤キー郎       10     福岡佐五郎       福岡佐五郎     根田 金田十右衛門	×	+	1.0				1 H /PJA
昭和23年1月ヨリ 1月12日 入 500 キカバ 杉山田 伊東道雄 2月20日 入 1100		1	<del>                                     </del>				
1月12日 入     500     キカバ     杉山田 伊東道雄 芹沢       2月20日 入     1100     龍崎小原連計庫 芹沢       30日 入     900     2     組 雪田土場内       2月12日 入     450     上五反沢       1月31日 入     500     本城 鈴木兵之助       1月23日 入     450     李岱 成田米治       入     750     上     1     組 三里 松岡       2月2日 入     750     上が以上がは 芹沢 キー郎       2月9日 入     400     並     1     組 田中与七       人     500     鈴木勝司       3月15日 入     450     山岡勇助       14日 入     30     伊藤米松       14日 入     20     沢 羽立       19日 入     350     加藤キー郎       ボ     入     10     福岡佐五郎       ボ     入     30     根田 金田十右衛門		H = 11					
2月20日     入     1100          即がら地域は対慮     芹沢       30日     入     900     2     組     雪田土場内       2月12日     入     450     上五反沢       1月31日     入     500     本城 鈴木兵之助       1月23日     入     450     李岱 成田米治       2月2日     入     750     上     1     組     三里 松岡       2月9日     入     400     並     1     組     田中与七       ス     500     動木勝司       3月15日     入     450     山岡勇助       14日     入     30     伊藤米松       14日     入     20     沢     羽立       19日     入     350     加藤キー郎       "     入     10     福岡佐五郎       ル     入     30     根田 金田十右衛門			1	セカバ			杉山田 伊東海州
30日     入     900     2     組     雪田土場内       2月12日     入     450     上五反沢       1月31日     入     500     本城 鈴木兵之助       1月23日     入     450     李岱 成田米治       2月2日     入     750     上     1     組     三里 松岡       2月9日     入     400     並     1     組     田中与七       2月9日     入     450     山岡勇助       14日     入     30     伊藤米松       14日     入     20     沢     羽立       19日     入     350     加藤キー郎       "     入     10     福岡佐五郎       個個佐五郎     人     20     長田 金田十右衛門							
2月12日     入 450     上五反沢       1月31日     入 500     本城 鈴木兵之助       1月23日     入 450     李岱 成田米治       入 750     上 1 組 三里 松岡       2月2日     入 750     上がみ ヒネヤンラム       2月9日     入 400     並 1 組 田中与七       入 500     鈴木勝司       3月15日     入 450     山岡勇助       14日     入 30     伊藤米松       14日     入 20     沢 羽立       19日     入 350     加藤キー郎       "     入 10     福岡佐五郎       根田 金田十右衛門				plキ//ペル組にイリン組	9	- 公口	·
1月31日 入 500     本城 鈴木兵之助       1月23日 入 450     李岱 成田米治       入 750     上 1 組 三里 松岡       2月2日 入 750     上がみ ヒキサンii 戸沢 キー郎       2月9日 入 400     並 1 組 田中与七       入 500     鈴木勝司       3月15日 入 450     山岡勇助       14日 入 30     伊藤米松       14日 入 20     沢 羽立       19日 入 350     加藤キー郎       " 入 10     福岡佐五郎       根田 金田十右衛門		-				和且	·
1月23日     入 450     李岱 成田米治       入 750     上     1     組 三里 松岡       2月2日     入 750     上から人 ヒヤッシュii     芹沢 キー郎       2月9日     入 400     並     1     組 田中与七       入 500     鈴木勝司       3月15日     入 450     山岡勇助       14日     入 30     伊藤米松       14日     入 20     沢 羽立       19日     入 350     加藤キー郎       "     入 10     福岡佐五郎       人 30     根田 金田十右衛門		+					<del>                                     </del>
入 750     上     1     組 三里 松岡       2月2日     入 750     上がら入 ヒキサン1²     芹沢 キー郎       2月9日     入 400     並     1     組 田中与七       入 500     鈴木勝司       3月15日     入 450     山岡勇助       14日     入 30     伊藤米松       14日     入 20     沢 羽立       19日     入 350     加藤キー郎       "     入 10     福岡佐五郎       人 30     根田 金田十右衛門		_				_	
2月2日     入 750     上がら入と持り達     芹沢 キー郎       2月9日     入 400     並     1     組 田中与七       人 500     鈴木勝司       3月15日     入 450     山岡勇助       14日     入 30     伊藤米松       14日     入 20     沢 羽立       19日     入 350     加藤キー郎       "     入 10     福岡佐五郎       人 30     根田 金田十右衛門	1月23日	+		1		/are	<del>\</del>
2月9日     入     400     並     1     組     田中与七       人     500     参木勝司       3月15日     入     450     山岡勇助       14日     入     30     伊藤米松       14日     入     20     沢     羽立       19日     入     350     加藤キー郎       "     入     10     福岡佐五郎       人     30     根田     金田十右衛門	0.00	+			1	組	
入 500     鈴木勝司       3月15日     入 450     山岡勇助       14日     入 30     伊藤米松       14日     入 20     沢 羽立       19日     入 350     加藤キー郎       "     入 10     福岡佐五郎       人 30     根田 金田十右衛門		_	-			4	†
3月15日     入     450     山岡勇助       14日     入     30     伊藤米松       14日     入     20     沢     羽立       19日     入     350     加藤キー郎       "     入     10     福岡佐五郎       人     30     根田     金田十右衛門	2月9日			並	1	組	<u> </u>
14日     入 30     伊藤米松       14日     入 20     沢 羽立       19日     入 350     加藤キー郎       "     入 10     福岡佐五郎       人 30     根田 金田十右衛門		+					
14日     入     20     沢     羽立       19日     入     350     加藤キー郎       "     入     10     福岡佐五郎       人     30     根田     金田十右衛門		_					
19日     入     350     加藤キー郎       "     入     10     福岡佐五郎       人     30     根田 金田十右衛門	ļ	1					
n     入     10     福岡佐五郎       入     30     根田 金田十右衛門	14日	+	20				
入 30 根田 金田十右衛門	19日		350				加藤キ一郎
	11	入	10				
		入	30				根田 金田十右衛門
22日   入   500   フシカバ   伊藤開二郎	22日	入	500	フシカバ			
入 300 李岱 部長殿へ		入	300				李岱 部長殿へ

H / L		(m)	D 44-	w. =		h.
日付		(円)	品物	数量	vu v	名
	入入	3300 3300		6	組組	五反沢 石川 五反沢 石川
	入	1400		2	組	二ツ井
	_	1000	タバコ入形		WIT	菊太郎
	入	300	キンシ入			Nancole
	入	700				下枝 桜井
			大1ケ小1ケ			李岱 茶 局
4月3日	入	250				雪田土場 木村
	入	450				田中与七
4月28日	入	650	10			山梨県 金田直太郎
4月11日	入	250	ドーラン	1	ケ	米内沢 トコヤ
4月11日 4月13日	入入	500 50				ニツ井 沢羽立 藤岡
4月13日		30				米内沢 大倉定治
17,110 [4	入	650				山岡勇助
5月25日	入	800	タバコ入形			トコヤ
5月25日	入	1800		3	組	"
7月9日		700				休み 山岡太郎
	入	900				二ツ井
7月31日	入	650				大内沢 成田慶二
	入	900				ニツ井行
25日	入	300				加藤理吉
7月14日 旧オボまで	入入	550 800		1	組	五城目 オけヤ 上小阿仁村 杉花行
8月23日	入入	1200		2	組	山岡勇助
0/1/20/1	入入	600		1	組	御所野太助ムコ
	入	1000	ヌキサシ	1	//ULL	新田目 斎藤慶助
	入	50	ツクルへ			鈴木勝司
8月1日	入	2500		5	組	トコヤ
8月14日	入	1000				雪田 文之助
	入	1000				二ツ井行
8月3日	入	800	タバコ入	1	組	御処野 菊太郎
	入	50				鈴木政之助
8月30日	入	650				福田定五郎
9月5日	入入	650 1000				根田の人/分 福田定五郎 50円多く 本城 秋本
	入入	1000				新田目
9月	入	50	ツクルへ			大内沢 馬八
371	入	50				福田与■郎
	入	20				羽立
		20				三木田 土場
		1200				三浦
	入	600				伊藤常五郎
	入	350				伊藤ゴンタロン (オンジ)
	入	20				李代福田
	入	5000 1100				大館鈴木
	入	700				三浦 阿仁合行 羽立 小坂
	_	800				<u> </u>
	_	1000				長太郎
	入	1000				杉花
	入	1200				二ツ井
	入	800				御所野清吉
		200				伊蔵米松
	_	1000				松橋長太郎
4 H 00 H	入	500				楽屋
1月28日	入入	1200 900	+		-	木花
	_	1000				鈴木イト
	入	1300				小矢田コーシロ
	<u> </u>	1000				大阿仁村中村校内鈴木市郎
		400				
	入	1200				上大野タバコ先生
2月3日	_	300		1	ケ	太助
	_	1100	1			大阿仁村中村校内鈴木市郎
2月3日		1000		1	組	
	入	2750		5	組	トコヤ
	入入	850 400				雪田 山岡勇助
	入	350				金森イシヤ福山与右衛門
	_	950	1			雪田 山岡勇助
	入	8300				トコヤ前田行15
	_	3250				タシロ
	_	1000				上杉セーマイ
	入	650	並			沢田石長五郎
	入	1000	タバコ入形	3	組	平川 文治
	入	1100				小沢田 ラズオヤ
		1000				三木田 三浦
	入	800	-			福田
		650				文治
		650	1			伊藤

日付		(円)	品物	数量		名
		800	ツ木皮代			
		700	乃木モト代			
		700	ツキ皮八木ツン			
		1300				沖田面
8月2日	入	300	トーラン	1	ケ	伊藤米松
	入	80	ツクルへ			福田由蔵
	入	350				杉瀬マゴ吉
		600				御所野菊太郎
	入	1200				桜田徳太郎
	入	1000				御所野菊太郎
1月より						
		500				
		500				
20日		700				
1月22日		200				
1月27日		700				
2月4日		100				
2月23日		600				
3月23日		1500				
湊乙治分		10000				
8月		1000				イト 米代へ払
8月30日		300				正金ニテ本人払
杉山田 伊藤太吉分						
4月17日		25				キカケ代ニテ文之助へ払